iA3シリーズ

■ システムデータシート(iA3/S) ■

お客様ご芳名	
ご使用機器	
データ設定者 および会社名 （電話番号）	
作　成　日	

F-5698-1
922698A1

システムデータシートの使い方

1．データ設定の変更を行った場合に、変更内容をこのシステムデータシートに記録してください。

2．このシステムデータシートは、コマンド番号順に記載されています。

3．記入欄が空欄となっているコマンドの場合は、空欄の処理方法を※印で示しています。
また、空欄がないコマンドは各設定値があらかじめ記載されていますので、該当部分を丸で囲むなどして、印を付けてください。

4．ROM版数によって使用可能なコマンドや設定内容が異なるコマンドがありますので、記入の際は注意してください。（6-1版～(一例)にて適用となるROM版数を示しています。）
※本システムデータシートはiAシリーズ、iA 2シリーズでも使用可能です。

保守系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊000	[**リモートサービス用パスワード**] ※空欄に設定ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを記入 DDDD ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 注意 ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽで必要ですので、別途番号を控えておき、現地以外でもﾊﾟｽﾜｰﾄﾞがわかるようにしてください。	0000
＊001	[**システムデータ設定用電話機**] ※空欄にﾃﾞｰﾀ設定用電話機の収容位置を記入 D_0 設定No.1 / $D_1D_1D_1$ / D_0 設定No.2 / $D_1D_1D_1$	1-101 2-000(設定なし)
＊002	[**リモートサービスの桁間時間**] D / 0 / 1 桁間時間 / 3分 / 10分	1:10分
＊013	[**外線メークビジー**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号 / 01 02 03 04 05 06 07 08 D_2 状態 / 0 開放 / 1 ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ	0:開放
＊026	[**外線の極性有無**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号 / 01 02 03 04 05 06 D_2 極性 / 0 なし / 1 あり	0:なし
＊030	[**プログラマブルキーの設定**] ※空欄に$D_2D_2(D_2)$のﾃﾞｰﾀ(機能番号)を記入 $D_0D_0D_0$ 収容位置 / 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_1D_1 ｷｰ番号 / 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 99	工事・保守ﾏﾆｭｱﾙ参照

保守系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊034	[ダイヤルアップWeb設定用外線/DI加入者番号]　※D_0:空欄該当部分をﾏｰｸ、 D_1(D_1…D_1):外線番号/ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号を記入 D_0 回線区分: 1 一般回線 / 2 DI回線 D_1(D_1…D_1) 対象外線/ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号: 外線番号 / ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号(～6-X版:最大4桁/7-1版～:最大11桁)	[外線番号] 00:設定なし [ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号] 設定なし
＊035	[ダイヤルアップWeb設定可能な発番号]　※空欄に電話番号を記入 D_0 項番 / D_1(D_1…D_1) 対象電話番号: 1, 2, 3	設定なし
＊040	[アナログ外線の線路ロス]　※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号: 01 02 03 04 05 06 D_2 線路ﾛｽ: 0 4dB以上 / 1 2～3dB / 2 0～1dB	0:4dB以上
＊041	[アナログ外線の線径]　※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号: 01 02 03 04 05 06 D_2 線径: 0 0.32～0.65φ / 1 0.9φ	0:0.32～0.65φ
＊042	[アナログ外線通話の送話音量] D_0D_0 外線番号: 01 02 03 04 05 06 D_2 送話音量 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_2: 2 3 4 5 6 7 8 音量: 0dB -2dB -4dB -6dB -8dB -10dB -12dB	ｺﾏﾝﾄﾞ＊040の設定により可変(＊040が「0」の場合は、「2」となります。)
＊043	[アナログ外線通話の受話音量] D_0D_0 外線番号: 01 02 03 04 05 06 D_2 受話音量 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_2: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 音量: +4dB +2dB 0dB -2dB -4dB -6dB -8dB -10dB -12dB	ｺﾏﾝﾄﾞ＊040の設定により可変(＊040が「0」の場合は、「2」となります。)
＊050	[ドアホン子機冒頭音ボリューム] D_0 / D_1: ﾄﾞｱﾎﾝ冒頭音 0 1 2 3 4 5 6 7 1 ﾄﾞｱﾎﾝA: 大 ← 標準 → 小 2 ﾄﾞｱﾎﾝB: 大 ← 標準 → 小 3 ﾄﾞｱﾎﾝC: 大 ← 標準 → 小 4 ﾄﾞｱﾎﾝD: 大 ← 標準 → 小 5 ﾄﾞｱﾎﾝE: 大 ← 標準 → 小 (3-1版～)	5:標準
＊051	[DH→電話機ボリューム] D_0 / D_1: ﾄﾞｱﾎﾝ送話音量 0 1 2 3 4 5 6 7 1 ﾄﾞｱﾎﾝA: 大 ← 標準 → 小 2 ﾄﾞｱﾎﾝB: 大 ← 標準 → 小 3 ﾄﾞｱﾎﾝC: 大 ← 標準 → 小 4 ﾄﾞｱﾎﾝD: 大 ← 標準 → 小 5 ﾄﾞｱﾎﾝE: 大 ← 標準 → 小 (3-1版～)	4:標準
＊052	[電話機→DHボリューム] D_0 / D_1: ﾄﾞｱﾎﾝ受話音量 0 1 2 3 4 5 6 7 1 ﾄﾞｱﾎﾝA: 大 ← 標準 → 小 2 ﾄﾞｱﾎﾝB: 大 ← 標準 → 小 3 ﾄﾞｱﾎﾝC: 大 ← 標準 → 小 4 ﾄﾞｱﾎﾝD: 大 ← 標準 → 小 5 ﾄﾞｱﾎﾝE: 大 ← 標準 → 小 (3-1版～)	4:標準
＊053	[ページング冒頭音ボリューム] D: 0 1 2 3 4 5 6 7 ﾍﾟｰｼﾞﾝｸﾞ冒頭音: 大 ← 標準 → 小	2:標準
＊054	[ページング出力ボリューム] D: 0 1 2 3 4 5 6 7 ﾍﾟｰｼﾞﾝｸﾞ出力: 大 ← 標準 → 小	2:標準

保守系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊055	[外部スピーカ着信音ボリューム] D: 0 外部ｽﾋﾟｰｶ着信音 大 ← 1 2 3 4 標準 5 6 → 7 小	4:標準
＊057	[外部音源入力ボリューム] D: 0 外部音源入力 大 ← 1 2 標準 3 4 5 6 → 7 小	2:標準
＊058	[RECU再生ボリューム] D: 0 RECU再生ﾎﾞﾘｭｰﾑ 大 ← 1 2 標準 3 4 5 6 → 7 小	2:標準
＊059	[RECU録音ボリューム] D: 0 RECU録音ﾎﾞﾘｭｰﾑ 標準 1 2 3 4 5 6 → 7 小	0:標準
＊062	[ISDN外線通話の送話音量] D: 1 送話音量 標準 2 3 4 5 6 → 7 小	1:標準
＊063	[ISDN外線通話の受話音量] D: 0 受話音量 大 ← 1 2 標準 3 4 5 6 → 7 小	3:標準
＊077	[ISDN外線/IP外線のRECU録音ボリューム] D: 0 ISDN外線/IP外線のRECU録音ﾎﾞﾘｭｰﾑ 大 ← 1 標準 2 3 4 5 6 → 7 小	1:標準

システム系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊080	[内線番号及び特番桁数] ※空欄に設定桁数を記入 D_0 ﾀﾞｲﾔﾙ: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 D_1 桁数:	0 ― 1：1桁 1 ― 2：2桁 ～ ～ 7 ― 2：2桁 8 ― 1：1桁 9 ― 1：1桁
＊081	[1桁/2桁特番] ※空欄に設定番号(特番)を記入	左表参照

D_0D_0	内容	$D_1(D_1)$	初期値	D_0D_0	内容	$D_1(D_1)$	初期値
00	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		0	33	簡易VPN特番04		なし
01	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		なし	34	簡易VPN特番05		なし
02	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ3		なし	35	簡易VPN特番06		なし
03	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ4		なし	36	簡易VPN特番07		なし
04	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ5		なし	37	簡易VPN特番08		なし
05	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ6		なし	38	簡易VPN特番09		なし
06	短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信		なし	39	簡易VPN特番10		なし
07	電話機短縮登録		なし	40	簡易VPN特番11		なし
08	応答遅延転送登録		なし	41	簡易VPN特番12		なし
09	不在転送(外線)登録		なし	42	簡易VPN特番13		なし
10	不在転送(内線)登録		なし	43	簡易VPN特番14		なし
11	圏外転送開始(DCLのみ)		なし	44	簡易VPN特番15		なし
12	外線指定捕捉		なし	45	簡易VPN特番16		なし
13	外線着信応答番号		8	46	簡易VPN特番17		なし
14	保留応答番号		9	47	簡易VPN特番18		なし
15	保留自己外線応答番号		なし	48	簡易VPN特番19		なし
16	代理応答番号		なし	49	簡易VPN特番20		なし
27	不在転送(外線)開始		なし	50	不在転送(内線)開始		なし
30	簡易VPN特番01		なし	51	応答遅延転送開始		なし
31	簡易VPN特番02		なし	52	夜間切替番号		なし
32	簡易VPN特番03		なし	53	留守切替番号		なし

機能番号

コマンド	データ	初期値
＊082	［内線番号及び特番］ ※空欄に設定番号を記入	左表参照

$D_0D_0D_0$ 機能番号	$D_1(D_1D_1D_1)$ 内線番号	初期値	$D_0D_0D_0$ 機能番号	$D_1(D_1D_1D_1)$ 内線番号	初期値
101		10	137		なし
102		11	138		なし
103		12	139		なし
104		13	140		なし
105		14	141		なし
106		15	142		なし
107		16	143		なし
108		17	144		なし
109		18	145		なし
110		19	146		なし
111		20	147		なし
112		21	148		なし

$D_0D_0D_0$ 機能番号	内　　容	$D_1(D_1D_1D_1)$ 特番	初期値	$D_0D_0D_0$ 機能番号	内　　容	$D_1(D_1D_1D_1)$ 特番	初期値
601	内線一般着信1(DILIN21)		なし	727	ﾄﾞｱﾎﾝE呼出/応答 (3-1版～)		なし
602	内線一般着信2(DILIN22)		なし	739	不在時自動ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ(発信側送話なし)		なし
603	内線一般着信3(DILIN23)		なし	740	不在時自動ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ(発信側送話あり)		なし
604	内線一般着信4(DILIN24)		なし	741	応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ1CH-1(RECU1-1)		78
700	内線一斉呼出		70	742	応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ1CH-2(RECU1-2)		79
701	内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ1呼出		71	743	応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ1CH-3(RECU1-3)		なし
702	内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ2呼出		72	744	応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ1CH-4(RECU1-4)		なし
703	内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ3呼出		73	745	応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ2CH-1(RECU2-1)		なし
716	外部ｽﾋﾟｰｶ呼出		75	746	応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ2CH-2(RECU2-2)		なし
717	外部ｽﾋﾟｰｶｸﾞﾙｰﾌﾟ1呼出		なし	747	応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ2CH-3(RECU2-3)		なし
718	外部ｽﾋﾟｰｶｸﾞﾙｰﾌﾟ2呼出		なし	748	応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ2CH-4(RECU2-4)		なし
719	外部ｽﾋﾟｰｶｸﾞﾙｰﾌﾟ3呼出		なし	781	留守録1CH 応答ﾒｯｾｰｼﾞ1		61
720	外部ｽﾋﾟｰｶｸﾞﾙｰﾌﾟ4呼出		なし	782	留守録1CH 応答ﾒｯｾｰｼﾞ2		62
721	外部ｽﾋﾟｰｶ+内線一斉呼出		なし	783	留守録1CH 応答ﾒｯｾｰｼﾞ3		63
722	ﾍﾟｰｼﾞﾝｸﾞ応答		77	784	留守録2CH 応答ﾒｯｾｰｼﾞ1		64
723	ﾄﾞｱﾎﾝA呼出/応答		なし	785	留守録2CH 応答ﾒｯｾｰｼﾞ2		65
724	ﾄﾞｱﾎﾝB呼出/応答		なし	786	留守録2CH 応答ﾒｯｾｰｼﾞ3		66
725	ﾄﾞｱﾎﾝC呼出/応答		なし	821	ASPｻｰﾊﾞ呼出特番 (8-1版～)		なし
726	ﾄﾞｱﾎﾝD呼出/応答 (3-1版～)		なし				

＊083	［ユーザ用パスワード］ ※空欄に設定ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを記入	0000

DDDD ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ				

＊084	［モード切替用電話機（夜間切替操作用電話機）］ ※空欄に操作電話機の収容位置($D_2D_2D_2$)を記入	［ﾃﾅﾝﾄ01］ 01-101、02-102 03-103、04-104 05～10-000: 設定なし ［その他のﾃﾅﾝﾄ］ 000:設定なし

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1D_1 設定TEL No. 01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
01										
02										
03										
04										
05										
06										
07										

＊085 (～4-X版)	［夜間切替の時刻］ ※時刻：空欄に24時間制で4桁を記入、区分(夜状態のﾓｰﾄﾞ)：空欄該当部分をﾏｰｸ	なし

D_0 曜日		0 日曜日	1 月曜日	2 火曜日	3 水曜日	4 木曜日	5 金曜日	6 土曜日	7 全曜日
$D_1D_1D_1D_1$ 昼開始時刻									
$D_2D_2D_2D_2$ 昼終了時刻									
D_3 区分	1 夜間								
	2 外出								
	3 休日								

システム系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊086	[リモート操作用の外線またはDI加入者番号] ※D_0:空欄該当部分をﾏｰｸ、 D_1(D_1…D_1):外線番号/ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号を記入	[外線番号] 00:設定なし [ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号] 設定なし

D_0 回線区分		D_1(D_1…D_1) 対象外線/ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号	
1 一般回線	2 DI回線	外線番号	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号(～6-X版:最大4桁/7-1版～:最大11桁)

＊087	[リモート操作移行時間(一般発信者)]	09:90秒

DD	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
ﾘﾓｰﾄ操作移行時間(秒)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180

＊088	[リモート操作移行時間(特定発信者)]	00:機能なし

DD	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
ﾘﾓｰﾄ操作移行時間(秒)	機能なし	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30

＊089	[リモート操作用電話機(特定発信者)] ※空欄に電話番号を記入	なし

D_0D_0 項番	D_1(D_1…D_1) 対象電話番号
01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

＊090	[停電時の直通電話機] ※空欄に直通電話機の収容位置を記入	000:なし

D_0D_0 外線番号	01	02	03	04	05	06
$D_1D_1D_1$ 直通電話機						

＊091	[DP(20PPS)ミニマムポーズ]	0:約512ms

D	0	1	2	3
ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞ	約512ms	約640ms	約768ms	約896ms

＊092	[外線へのPB信号送出時間]	0:約128ms

D	0	1	2	3
時間	約128ms	約448ms	約640ms	約960ms

＊093	[外線へのPB信号ミニマムポーズ]	0:約128ms

D	0	1	2	3
ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞ	約128ms	約192ms	約256ms	約320ms

＊094	[外線フッキング時間]	1:約500ms

D	0	1	2	3
時間	約250ms	約500ms	約1000ms	約2000ms

システム系コマンド

<table>
<tr><th>コマンド</th><th>データ</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊095</td><td>［内線へのPB信号送出時間］
<table>
<tr><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr>
<tr><td>時間</td><td>約128ms</td><td>約256ms</td><td>約384ms</td><td>約512ms</td></tr>
</table></td><td>0:約128ms</td></tr>
<tr><td>＊096</td><td>［内線へのPB信号ミニマムポーズ］
<table>
<tr><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr>
<tr><td>ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞ</td><td>約128ms</td><td>約256ms</td><td>約384ms</td><td>約512ms</td></tr>
</table></td><td>0:約128ms</td></tr>
<tr><td>＊097</td><td>［発信相手の回線種別表示］
<table>
<tr><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td>表示</td><td>なし</td><td>あり</td></tr>
</table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊098</td><td>［他テナントの夜間切替可能電話機］ ※空欄に操作電話機の収容位置を記入
<table>
<tr><td>D_0 設定No.</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr>
<tr><td>$D_1D_1D_1$ 操作電話機</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td><td>000:なし</td></tr>
</table>

外線発信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊100	[**外線ダイヤル種別**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:20PPS

D_0D_0 外線番号			01	02	03	04	05	06
D_2 ﾀﾞｲﾔﾙ種別	0	20PPS						
	1	10PPS						
	2	PB						

コマンド	データ	初期値
＊101	[**外線種別**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	[昼]0:NTT [夜]0:NTT

D_0D_0 外線番号			01	02	03	04	05	06	07	08
D_2 外線種別 (昼)	0	NTT								
	1	ﾋﾞﾙ電話								
	2	PBX								
	3	その他								
D_3 外線種別 (夜)	0	NTT								
	1	ﾋﾞﾙ電話								
	2	PBX								
	3	その他								

コマンド	データ	初期値
＊102	[**VPN契約**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:契約なし

D_0D_0 外線番号			01	02	03	04	05	06	07	08
D_2 VPN 契約有無	0	契約なし								
	1	契約あり								

コマンド	データ	初期値
＊103	[**簡易VPN発信番号**] ※空欄に自動付加ﾀﾞｲﾔﾙを記入	設定なし

D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 自動付加ﾀﾞｲﾔﾙ	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 自動付加ﾀﾞｲﾔﾙ
01		11	
02		12	
03		13	
04		14	
05		15	
06		16	
07		17	
08		18	
09		19	
10		20	

コマンド	データ	初期値
＊110	[**外線自動発信の捕捉外線**] ※空欄にD_3のﾃﾞｰﾀ(0または1)を記入	[全外線] 1,1: ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号1は 自動捕捉あり 2,0 ～ 6,0: ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号2～6は 自動捕捉なし

D_0D_0 外線番号			01	02	03	04	05	06	07	08
D_2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	0	全ｸﾞﾙｰﾌﾟ								
	1	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1								
	2	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2								
	3	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3								
	4	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4								
	5	ｸﾞﾙｰﾌﾟ5								
	6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6								

D_3	自動捕捉機能
0	なし
1	あり

コマンド	データ	初期値
＊111	[**オフフック発信機能**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	[収容位置107,108] 1:あり [収容位置107,108以外] 0:なし

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2 ｵﾌﾌｯｸ発信	0	機能なし												
	1	機能あり												

$D_0D_0D_0$ 収容位置			137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2 ｵﾌﾌｯｸ発信	0	機能なし												
	1	機能あり												

コマンド	データ	初期値
＊112	[**外線自動発信グループ1のサブグループ**] ※空欄にｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(1～4)を記入	1:ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ1

D_0D_0 外線番号	01	02	03	04	05	06	07	08
D_2 ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ番号								

外線発信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊113	[外線自動発信グループ1のサブグループ対応電話機] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0,1:全ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ発信可

$D_0D_0D_0$ 収容位置 ＼ D_2 ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	0(全)		1		2		3		4	
D_3 自動発信	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	不可	可	不可	可	不可	可	不可	可	不可	可
101										
102										
103										
104										
105										
106										
107										
108										
109										
110										
111										
112										
137										
138										
139										
140										
141										
142										
143										
144										
145										
146										
147										
148										

＊114	[外線ワンタッチ発信機能] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	1:あり

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	109	110	111	112
D_2 ﾜﾝﾀｯﾁ発信	0	なし										
	1	あり										

＊115	[オフフック自動発信の発信グループ]	1:ｸﾞﾙｰﾌﾟ1

D	1	2	3	4	5	6
ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	1	2	3	4	5	6

＊121	[PBX局線発信特番]	0

D	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
発信特番	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

＊122	[PBX局線発信特番自動挿入]	1:あり

D	0	1	2
自動挿入	なし	あり	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ時もあり

＊123	[チェーンダイヤル機能]	0:なし

D	0	1
ﾁｪｰﾝﾀﾞｲﾔﾙ機能	なし	あり

＊124	[＊ボタンによる短縮発信]	1:可

D	0	1
使用の可否	不可	可

＊125	[短縮/電話帳ボタン使用種別]	0:一般の短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信用

D	0	1
使用種別	一般の短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信用	事業所番号発信用

＊126	[システム短縮ダイヤル登録]	設定なし

最終ページのシートを必要数コピーして記入してください。

＊127	[短縮発信の番号確認／検索機能] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:なし

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	109	110	111	112
D_2 番号確認/検索機能	0	なし										
	1	あり										

$D_0D_0D_0$ 収容位置			137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2 番号確認/検索機能	0	なし												
	1	あり												

外線発信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊128 (4-1版～)	[電話帳検索移行方法] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 短縮/電話帳 ボタン押下回数 0 2回 / 1 1回	0:2回
＊130	[外線発信自動リトライ回数] ※空欄に設定回数を記入 DD / 00 / 01～99 リトライ回数 / なし / 回	15:15回
＊131	[スーパーリトライ終了後の警報音] D / 0 / 1 警報音 / なし / あり	1:あり
＊132	[スーパーリトライ終了後の切断時間] D / 0 / 1 / 2 / 3 切断時間 / 0秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒	1:10秒
＊133	[ダイヤルボタンによるスーパーリトライ機能] D / 0 / 1 機能の有無 / 無効 / 有効	0:無効
＊134	[手動リトライ機能] D / 0 / 1 手動ﾘﾄﾗｲ / なし / あり	0:なし
＊135	[オフフック中のリトライ機能] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 機能の有無 0 なし / 1 あり	0:なし
＊137	[リダイヤルの外線捕捉選択方法] D / 0 / 1 選択方法 / 前回使用外線 / 自動選択	1:自動選択
＊138	[外線リバース検出後のメモリ] D / 0 / 1 ﾘﾊﾞｰｽ検出後のﾒﾓﾘ / ﾒﾓﾘしない / ﾒﾓﾘする	1:ﾒﾓﾘする
＊139	[発信履歴の初期画面] $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 初期画面 0 一覧表示(4件) / 1 詳細表示(1件)	0:一覧表示(4件)
＊140	[サービスクラス] $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2 ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ(昼) D_3 ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ(夜) $D_0D_0D_0$ 収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2 ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ(昼) D_3 ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ(夜) ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_2/D_3 / 0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ / A(超特甲) / B(特甲) / C(準特甲A) / D(準特甲B) / E(甲) / F(準甲) / G(乙)	0:全内線 ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽA (超特甲)

外線発信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊141	[特定市外番号] ※空欄に設定するﾀﾞｲﾔﾙ(先頭の0を除いた1～10桁)を記入	全ての市外に発信可能

D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 発信可能な市外番号	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 発信可能な市外番号	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 発信可能な市外番号	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 発信可能な市外番号
01		09		17		25	
02		10		18		26	
03		11		19		27	
04		12		20		28	
05		13		21		29	
06		14		22		30	
07		15		23		31	
08		16		24		32	

＊142	[特定発信規制] ※空欄に規制するダイヤル(1～10桁)を記入	01-0990,02-1890990,03-100,04-106,05-108, 06-0051,07-0052,08-0055,09-0045,10-0062 11～64は設定なし

D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 規制ﾀﾞｲﾔﾙ	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 規制ﾀﾞｲﾔﾙ	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 規制ﾀﾞｲﾔﾙ	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
01		17		33		49	
02		18		34		50	
03		19		35		51	
04		20		36		52	
05		21		37		53	
06		22		38		54	
07		23		39		55	
08		24		40		56	
09		25		41		57	
10		26		42		58	
11		27		43		59	
12		28		44		60	
13		29		45		61	
14		30		46		62	
15		31		47		63	
16		32		48		64	

＊143 [共通電話帳ダイヤルのサービスクラス規制] — 1:あり

D	0	1
規制	なし	あり

＊144 [特定発信規制対象のクラス] — 1:B(特甲)

D	1	2	3	4
規制対象のｸﾗｽ	B(特甲)	C(準特甲A)	D(準特甲B)	E(甲)

＊145 [夜間切替時のサービスクラス切替] ※空欄該当部分をﾏｰｸ — 1:あり

D_0D_0 外線番号			01	02	03	04	05	06	07	08
D_2 切替	0	なし								
	1	あり								

＊150 [桁間ポーズ挿入位置(PBX/ビル電話)] ※空欄に設定値0～8を記入 — ﾀﾞｲﾔﾙ 位置 0 - 1 (1桁目) 1～9 - 0 (ﾎﾟｰｽﾞなし)

D_0 第1ﾀﾞｲﾔﾙ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
D_1 ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置										

＊151 [桁間ポーズ挿入位置(NTT)] ※空欄に設定値0～8を記入 — ﾀﾞｲﾔﾙ 位置 0～9 - 0 (ﾎﾟｰｽﾞなし)

D_0 第1ﾀﾞｲﾔﾙ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
D_1 ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置										

＊152 [00XXダイヤルの桁間ポーズ挿入位置(PBX/ビル電話)]
※空欄に設定値0,4～8を記入 — ﾀﾞｲﾔﾙ 位置 0～9 - 0 (ﾎﾟｰｽﾞなし)

D_0 識別用ﾀﾞｲﾔﾙ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
D_1 ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置										

＊153 [00XXダイヤルの桁間ポーズ挿入位置(NTT)] ※空欄に設定値0,3～8を記入 — ﾀﾞｲﾔﾙ 位置 0～9 - 0 (ﾎﾟｰｽﾞなし)

D_0 識別用ﾀﾞｲﾔﾙ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
D_1 ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置										

＊154 [PBX/ビル電話収容時の桁間ポーズ時間] — 03:3秒

DD	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
ﾎﾟｰｽﾞ時間(秒)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

外線発信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊155	[NTT収容時の桁間ポーズ時間]	03:3秒
＊156	[短縮ダイヤル中のポーズ時間]	0:3秒
＊157	[一般ダイヤルのプレポーズ時間]	1:0.5秒
＊160	[事業者識別番号自動付加外線] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	[全通話区分] 0,00:なし,なし
＊161	[その他区分の対象ダイヤル] ※空欄に通話区分(5～8)、対象番号を記入	01-5,080 02-5,090 03～32は 設定なし

＊155 [NTT収容時の桁間ポーズ時間]

DD	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
ﾎﾟｰｽﾞ時間(秒)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

＊156 [短縮ダイヤル中のポーズ時間]

D	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ﾎﾟｰｽﾞ時間(秒)	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30

＊157 [一般ダイヤルのプレポーズ時間]

D	0	1	2	3	4	5	6	7
ﾌﾟﾚﾎﾟｰｽﾞ時間(秒)	0	0.5	1	1.5	2	2.5	3	3.5

＊160 [事業者識別番号自動付加外線] ※空欄該当部分をﾏｰｸ

D_0D_0 外線番号	D_2 通話区分		D_3 ﾏｲﾗｲﾝﾌﾟﾗｽ解除 0 なし	D_3 ﾏｲﾗｲﾝﾌﾟﾗｽ解除 1 あり	D_4D_4 事業者項番
01	1	市内			
	2	県内市外			
	3	県間市外			
	4	国際			
	5	その他1			
	6	その他2			
	7	その他3			
	8	その他4			
02	1	市内			
	2	県内市外			
	3	県間市外			
	4	国際			
	5	その他1			
	6	その他2			
	7	その他3			
	8	その他4			
03	1	市内			
	2	県内市外			
	3	県間市外			
	4	国際			
	5	その他1			
	6	その他2			
	7	その他3			
	8	その他4			
04	1	市内			
	2	県内市外			
	3	県間市外			
	4	国際			
	5	その他1			
	6	その他2			
	7	その他3			
	8	その他4			

D_0D_0 外線番号	D_2 通話区分		D_3 ﾏｲﾗｲﾝﾌﾟﾗｽ解除 0 なし	D_3 ﾏｲﾗｲﾝﾌﾟﾗｽ解除 1 あり	D_4D_4 事業者項番
05	1	市内			
	2	県内市外			
	3	県間市外			
	4	国際			
	5	その他1			
	6	その他2			
	7	その他3			
	8	その他4			
06	1	市内			
	2	県内市外			
	3	県間市外			
	4	国際			
	5	その他1			
	6	その他2			
	7	その他3			
	8	その他4			
07	1	市内			
	2	県内市外			
	3	県間市外			
	4	国際			
	5	その他1			
	6	その他2			
	7	その他3			
	8	その他4			
08	1	市内			
	2	県内市外			
	3	県間市外			
	4	国際			
	5	その他1			
	6	その他2			
	7	その他3			
	8	その他4			

＊161 [その他区分の対象ダイヤル]

D_0D_0 項番	D_1 通話区分	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 対象番号	D_0D_0 項番	D_1 通話区分	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 対象番号	D_0D_0 項番	D_1 通話区分	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 対象番号	D_0D_0 項番	D_1 通話区分	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 対象番号
01			09			17			25		
02			10			18			26		
03			11			19			27		
04			12			20			28		
05			13			21			29		
06			14			22			30		
07			15			23			31		
08			16			24			32		

外線発信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊162	[**県内市外局番**] ※空欄に対象の県内市外局番(先頭の0を除く)を記入	設定なし

D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 県内市外局番	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 県内市外局番	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 県内市外局番	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 県内市外局番
01		09		17		25	
02		10		18		26	
03		11		19		27	
04		12		20		28	
05		13		21		29	
06		14		22		30	
07		15		23		31	
08		16		24		32	

＊163	[**自局市外局番**] ※空欄に対象の自局市外局番(先頭の0を除く)を記入 D(D…D) 自局市外局番	設定なし
＊164	[**マイラインプラス解除特番**] ※空欄に対象の特番を記入 D(D…D) 特番	122

＊165 [**課金判定用の国内事業者識別番号**] ※空欄に事業者識別番号を記入

D_0D_0 事業者項番	D_1 固定データ	$D_2D_2D_2(D_2 \cdots D_2)$ 事業者識別番号	D_0D_0 事業者項番	D_1 固定データ	$D_2D_2D_2(D_2 \cdots D_2)$ 事業者識別番号
01	1		09	1	
02	1		10	1	
03	1		11	1	
04	1		12	1	
05	1		13	1	
06	1		14	1	
07	1		15	1	
08	1		16	1	

初期値：01-1,0036
02-1,0039
03-1,0033
04-1,0077
05-1,0088

06-1,:設定なし
〜 〜
16-1,:設定なし

＊166 [**課金判定用の国際事業者識別番号**] ※空欄に事業者識別番号を記入

D_0D_0 事業者項番	D_1 固定データ	$D_2D_2D_2(D_2 \cdots D_2)$ 事業者識別番号	D_0D_0 事業者項番	D_1 固定データ	$D_2D_2D_2(D_2 \cdots D_2)$ 事業者識別番号
01	1		09	1	
02	1		10	1	
03	1		11	1	
04	1		12	1	
05	1		13	1	
06	1		14	1	
07	1		15	1	
08	1		16	1	

初期値：01-1,0033
02-1,001
03-1,0052
04-1,0041
05-1,0061
06-1,0045
07-1,0062

08-1,:設定なし
〜 〜
16-1,:設定なし

＊168 [**マイライン対象外のダイヤル**] ※空欄に対象外のﾀﾞｲﾔﾙを記入

D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 対象外のダイヤル	D_0D_0 項番	$D_1(D_1 \cdots D_1)$ 対象外のダイヤル
01		17	
02		18	
03		19	
04		20	
05		21	
06		22	
07		23	
08		24	
09		25	
10		26	
11		27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	

初期値：01-00
02-0120
03-0180
04-0190
05-0570
06-070
07-1
08-0990
09-0800

10〜32は
設定なし

外線発信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊180	[外線別発信規制]	1:全外線発信可

$D_0D_0D_0$ 収容位置	D_2D_2 外線番号 01	02	03	04	05	06	07	08
101								
102								
103								
104								
105								
106								
107								
108								
109								
110								
111								
112								

$D_0D_0D_0$ 収容位置	D_2D_2 外線番号 01	02	03	04	05	06	07	08
137								
138								
139								
140								
141								
142								
143								
144								
145								
146								
147								
148								

※空欄にD_3のﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_3	0	1
外線発信の可否	発信不可	発信可

＊181	[外線発信ウェイティング特番]	00:機能なし

D	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
ｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ特番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

＊182	[外線連続捕捉機能]	1:あり

D	0	1
連続捕捉	なし	あり

＊183	[電話機毎のプリセットダイヤル可否] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:不可

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	109	110	111	112
D_2 ﾌﾟﾘｾｯﾄ ﾀﾞｲﾔﾙ	0	不可										
	1	可能										
	2	DT送出後のﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ										

外線発信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊185	[特定電話番号の外線グループ指定捕捉] ※空欄にｸﾞﾙｰﾌﾟ番号と特定電話番号を記入	0:なし

D_0D_0 項番	D_1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 特定電話番号	D_0D_0 項番	D_1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 特定電話番号
01			41		
02			42		
03			43		
04			44		
05			45		
06			46		
07			47		
08			48		
09			49		
10			50		
11			51		
12			52		
13			53		
14			54		
15			55		
16			56		
17			57		
18			58		
19			59		
20			60		
21			61		
22			62		
23			63		
24			64		
25			65		
26			66		
27			67		
28			68		
29			69		
30			70		
31			71		
32			72		
33			73		
34			74		
35			75		
36			76		
37			77		
38			78		
39			79		
40			80		

＊186	[特定電話番号以外の捕捉外線グループ] D: 1 2 3 4 5 6 ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号: 1 2 3 4 5 6	1:ｸﾞﾙｰﾌﾟ1
＊187	[IP電話発信迂回機能] D: 0 / 1 / 2 / 3 迂回機能: なし / 自動迂回(迂回表示なし) / 自動迂回(迂回表示あり) / 手動迂回(迂回表示あり)	2:自動迂回(迂回表示あり)
＊189 (3-1版～)	[IP回線使用不可時表示] D: 0 / 1 / 2 表示: 表示なし / ﾗﾝﾌﾟ表示あり / ﾗﾝﾌﾟ表示／LCD表示あり	0:表示なし
＊191 (7-1版～)	[#ダイヤル自動付加] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号: 01 02 03 04 05 06 D_2 自動付加: 0 なし / 1 あり	0:なし

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊300	［**外線毎の着信種別**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:一般外線

D_0D_0 外線番号			01	02	03	04	05	06	07	08
D_2 着信種別(昼)	0	一般外線								
	1	DID								
	2	DI								
	3	DIL								
	5	留守番機能								
D_3 着信種別(夜)	0	一般外線								
	1	DID								
	2	DI								
	3	DIL								
	5	留守番機能								

コマンド	データ	初期値
＊301	［**DILIN番号毎の着信種別**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:一般

D_0D_0 DILIN番号			01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
D_2 着信種別(昼)	0	一般																								
	5	留守番機能																								
D_3 着信種別(夜)	0	一般																								
	5	留守番機能																								

コマンド	データ	初期値
＊302	［**着信タイムオーバー時間**］ ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀを記入、ﾃﾞｰﾀは下記による ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰなしの場合:00を入力 ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰありの場合:設定時間の1/2を入力	15:30秒

ＤＤ	
ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時間	秒

コマンド	データ	初期値
＊303	［**オフフック応答機能**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ	2:鳴動外線のみ

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2 ｵﾌﾌｯｸ応答	0	なし												
	1	全外線												
	2	鳴動外線のみ												

コマンド	データ	初期値
＊305	［**オフフック応答可能なDILIN番号**］ ※空欄にD_3D_3のﾃﾞｰﾀ(DILIN番号01～24)を記入	全項番=00:なし

$D_0D_0D_0$ 収容位置		101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2D_2 項番	01												
	02												
	03												
	04												
	05												
	06												
	07												
	08												
	09												
	10												

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊310	[電話機毎の外線別着信鳴動有無と着信音の選択(昼)] ※空欄にD_3のﾃﾞｰﾀ(着信音:右下の表参照)を記入	[収容位置101～104] 全外線= 1:着信音1 [収容位置107、108] [収容位置137～148] 全外線= 0:着信なし [他収容位置] 全外線= 9:着信音9

$D_0D_0D_0$	D_2D_2 外線番号							
収容位置	01	02	03	04	05	06	07	08
101								
102								
103								
104								
105								
106								
107								
108								
109								
110								
111								
112								
137								
138								
139								
140								
141								
142								
143								
144								
145								
146								
147								
148								

D_3	着信音	
0	着信なし	
1	着信音1	800Hz/1067Hz
2	着信音2	2000Hz/1600Hz
3	着信音3	500Hz/666Hz
4	着信音4	2667Hz/2286Hz
5	着信音5	メロディ1
6	着信音6	メロディ2
7	着信音7	メロディ3
8	着信音8	メロディ4
9	着信音9	無鳴動着信

コマンド	データ	初期値
＊311	[電話機毎の外線別着信鳴動有無と着信音の選択(夜)] ※空欄にD_3のﾃﾞｰﾀ(着信音:＊310の表参照)を記入	[収容位置101～104] 全外線= 1:着信音1 [収容位置107、108] [収容位置137～148] 全外線= 0:着信なし [他収容位置] 全外線= 9:着信音9

$D_0D_0D_0$	D_2D_2 外線番号							
収容位置	01	02	03	04	05	06	07	08
101								
102								
103								
104								
105								
106								
107								
108								
109								
110								
111								
112								
137								
138								
139								
140								
141								
142								
143								
144								
145								
146								
147								
148								

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊312	[電話機毎のDILIN別着信鳴動有無と着信音の選択(昼)] ※空欄にD_3のﾃﾞｰﾀ(着信音：＊310(⇒P.16)の表参照)を記入	[収容位置101～104] DILIN 01= 1:着信音1 DILIN 02= 2:着信音2 DILIN 03= 3:着信音3 DILIN 04= 4:着信音4 DILIN 05～24= 1:着信音1 [収容位置107、108] [収容位置137～148] 全DILIN= 0:着信なし [他収容位置] 全DILIN= 9:着信音9

$D_0D_0D_0$	D_2D_2 DILIN番号																							
収容位置	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
101																								
102																								
103																								
104																								
105																								
106																								
107																								
108																								
109																								
110																								
111																								
112																								
137																								
138																								
139																								
140																								
141																								
142																								
143																								
144																								
145																								
146																								
147																								
148																								

＊313	[電話機毎のDILIN別着信鳴動有無と着信音の選択(夜)] ※空欄にD_3のﾃﾞｰﾀ(着信音：＊310(⇒P.16)の表参照)を記入	[収容位置101～104] DILIN 01= 1:着信音1 DILIN 02= 2:着信音2 DILIN 03= 3:着信音3 DILIN 04= 4:着信音4 DILIN 05～24= 1:着信音1 [収容位置107、108] [収容位置137～148] 全DILIN= 0:着信なし [他収容位置] 全DILIN= 9:着信音9

$D_0D_0D_0$	D_2D_2 DILIN番号																							
収容位置	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
101																								
102																								
103																								
104																								
105																								
106																								
107																								
108																								
109																								
110																								
111																								
112																								
137																								
138																								
139																								
140																								
141																								
142																								
143																								
144																								
145																								
146																								
147																								
148																								

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊314	[**メロディの選曲**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	1-01、2-02 3-06、4-10

D_1D_1	曲名	D_0 ﾒﾛﾃﾞｨ番号 1	2	D_1D_1	曲名	D_0 ﾒﾛﾃﾞｨ番号 3	4
01	Mickey Mouse March			01	峠の我が家		
02	It's A Small World			02	春の歌		
03	ｱﾝﾀﾞｰ･ｻﾞ･ｼｰ(ﾘﾄﾙﾏｰﾒｲﾄﾞ)			03	Let It Be		
04	ｱﾝﾊﾟﾝﾏﾝのﾏｰﾁ			04	ﾒﾛﾃﾞｨ･ﾌｪｱ		
05	Top Of The World			05	ｶﾉﾝ		
06	ｽｶﾎﾞﾛｰ･ﾌｪｱ			06	ﾉｸﾀｰﾝ Op.9-2		
07	恋人がｻﾝﾀｸﾛｰｽ			07	ｼﾞﾝｸﾞﾙﾍﾞﾙ		
08	島唄			08	Here Come The Sun		
09	世界に一つだけの花			09	We Wish You A Merry Christmas		
10	さくら			10	未来予想図Ⅱ		
				11	となりのﾄﾄﾛ		

＊315 [**着信識別の有無**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ　　1:あり

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	109	110	111	112
D_2 着信識別	0	なし										
	1	あり										

＊316 [**着信遅延電話機の設定**] ※空欄に対象電話機の収容位置を記入　　000:なし

D_0 項番	1	2
$D_1D_1D_1$ 収容位置		

＊317 [**着信遅延時間の設定**]　　1:3秒

D	0	1	2	3
遅延時間	2秒	3秒	4秒	5秒

＊318 [**緊急電話呼び返し鳴動時間**]　　3:30秒

D	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
鳴動時間	無限	10秒	20秒	30秒	40秒	50秒	60秒	70秒	80秒	90秒

＊320 [**着信警報機能(外線毎)**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ　　0:なし

D_0D_0 外線番号			01	02	03	04	05	06	07	08
D_2 着信警報	0	なし								
	1	あり								

＊321 [**着信警報機能(DILIN番号毎)**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ　　0:なし

D_0D_0 DILIN番号			01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
D_2 着信警報	0	なし																								
	1	あり																								

＊322 [**警報鳴動音量**]　　0:電話機の ﾎﾞﾘｭｰﾑ位置

D	0	1	2	3	4
着信(保留)警報の鳴動音量	電話機のﾎﾞﾘｭｰﾑ位置	特大	大	中	小

＊323 [**DIL対応電話機**] ※空欄に対象電話機の収容位置を記入　　000:なし

D_0D_0 外線番号	01	02	03	04	05	06	07	08
$D_2D_2D_2$ 収容位置(昼)								
$D_3D_3D_3$ 収容位置(夜)								

＊324 [**テナント外外線着信応答**]　　0:なし

D	0	1
応答機能	なし	あり

＊325 [**テナント外外線着信応答グループ**] ※空欄にｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(01～04)を記入　　00:機能なし

$D_0D_0D_0$ 収容位置	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2D_2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ												

＊326 [**オフフック中の外線着信鳴動**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ　　1:あり

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	109	110	111	112
D_2 鳴動	0	なし										
	1	あり										

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊327	［**DIL呼出不可時の外線切断**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号 / 01 02 03 04 05 06 07 08 D_2 外線切断 / 0 なし(呼出継続) / 1 あり	0:なし(呼出継続)
＊328	［**通話中外線着信通知**］ ※空欄に対象電話機の収容位置を記入 D_0 項番 / 1 2 3 4 5 6 7 8 $D_1D_1D_1$ 収容位置 7-1版～ のみ	000:なし
＊330	［**スライド着信時のスライド先電話機台数**］ D / 0 / 1 ｽﾗｲﾄﾞ先電話機 / 外線毎に1台 / ｼｽﾃﾑで8台	0:外線毎に1台
＊331	［**外線毎のスライドの有無**］ ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(0:なし、または1:あり)を記入 D_0D_0 外線番号 / 01 02 03 04 05 06 07 08 D_2 ｽﾗｲﾄﾞ着信機能の有無(昼) D_3 ｽﾗｲﾄﾞ着信機能の有無(夜)	0:なし
＊332	［**DILIN番号毎のスライドの有無**］ ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(0:なし、または1:あり)を記入 D_0D_0 DILIN番号 / 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 D_2 ｽﾗｲﾄﾞ着信機能の有無(昼) D_3 ｽﾗｲﾄﾞ着信機能の有無(夜)	0:なし
＊333	［**外線毎のスライド先電話機**］ ※空欄に対象電話機の収容位置を記入 D_0D_0 外線番号 / 01 02 03 04 05 06 07 08 $D_2D_2D_2$ 収容位置(昼) $D_3D_3D_3$ 収容位置(夜)	000:なし
＊334	［**DILIN番号毎のスライド先電話機**］ ※空欄に対象電話機の収容位置を記入 D_0D_0 DILIN番号 / 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 $D_2D_2D_2$ 収容位置(昼) $D_3D_3D_3$ 収容位置(夜) D_0D_0 DILIN番号 / 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 $D_2D_2D_2$ 収容位置(昼) $D_3D_3D_3$ 収容位置(夜)	000:なし
＊335	［**システムでのスライド先電話機**］ ※空欄に対象電話機の収容位置を記入 D_0 項番 / 1 2 3 4 5 6 7 8 $D_1D_1D_1$ 収容位置	000:なし
＊336	［**スライド着信時のテナント解除機能**］ D / 0 / 1 ﾃﾅﾝﾄ解除の有無 / なし / あり	0:なし
＊340	［**DID一次応答信号の種類**］ D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 / 01 02 03 04 05 06 07 D_1D_1 一次応答信号 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1D_1 / 00 / 09 / 11 / 12 / 13 / 14 / 21 / 22 / 23 / 24 一次応答信号 / 内線DT / 外部音源(EXU) / RECU 1-1 / RECU 1-2 / RECU 1-3 / RECU 1-4 / RECU 2-1 / RECU 2-2 / RECU 2-3 / RECU 2-4	00:内線DT
＊341	［**DID一次応答信号送出時間**］ D / 0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 送出時間 / 3秒 / 6秒 / 9秒 / 12秒 / 15秒 / 18秒 / 21秒 / 24秒 / 27秒 / 30秒	6:21秒
＊342	［**DID一次応答タイムオーバー時の処理**］ D / 0 / 1 処理 / 切断 / 一般着信	0:切断
＊343	［**DID一般着信処理後の切断時間**］ D / 0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 切断時間 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒 / 60秒 / 70秒 / 80秒 / 90秒 / 100秒	9:100秒

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊344	[DID ＊ ボタンによるDT戻り処理]	1:有効

D	0	1
処理	無効	有効

コマンド	データ	初期値
＊345	[DID,DI内線呼出時間]	3:30秒

D	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
呼出時間	無限	10秒	20秒	30秒	40秒	50秒	60秒	70秒	80秒	90秒

コマンド	データ	初期値
＊346	[DID,DI内線呼出時間タイムオーバー時の処理]	1:一般着信

D	0	1
DIDの場合	切断	一般着信
DIの場合	呼出継続	一般着信

コマンド	データ	初期値
＊347	[強制一般着信]	1:あり

D	0	1
強制一般着信	なし	あり

コマンド	データ	初期値
＊348	[外線着信自動応答の応答時間]	1:3秒

D	0	1	2	3
応答時間	0秒	3秒	6秒	9秒

コマンド	データ	初期値
＊349	[リモート操作時の内線番号指定]	01:なし(ﾃﾅﾝﾄ01)

D(D)	0	01	02	03	04	05	06	07
内線番号指定	あり	なし						
ﾘﾓｰﾄ操作対象ﾃﾅﾝﾄ	―	ﾃﾅﾝﾄ01	ﾃﾅﾝﾄ02	ﾃﾅﾝﾄ03	ﾃﾅﾝﾄ04	ﾃﾅﾝﾄ05	ﾃﾅﾝﾄ06	ﾃﾅﾝﾄ07

コマンド	データ	初期値
＊350	[DI番号変換機能]	4:あり(4桁)

D	0	1	2	3	4	5	6	7	8
変換機能の有無	なし	あり(1桁)	あり(2桁)	あり(3桁)	あり(4桁)	あり(5桁)	あり(6桁)	あり(7桁)	あり(8桁)

7-1版～のみ

コマンド	データ	初期値
＊351	[DIの番号変換] ※$D_1D_1D_1$:対象電話機の収容位置を記入、D_2:空欄該当部分をﾏｰｸ、D_3(D_3…D_3):変換番号を記入(～6-X版:最大4桁/7-1版～:最大8桁)	全項番 000,0:設定なし

D_0D_0 項番	$D_1D_1D_1$ 収容位置	D_2発番号送出時変換 0 なし	1 あり	$D_3(D_3D_3D_3)$ 変換番号	D_0D_0 項番	$D_1D_1D_1$ 収容位置	D_2発番号送出時変換 0 なし	1 あり	$D_3(D_3D_3D_3)$ 変換番号
01					07				
02					08				
03					09				
04					10				
05					11				
06					12				

コマンド	データ	初期値
＊352	[DI夜間一般着信]	0:なし

D	0	1
夜間一般着信	なし	あり

コマンド	データ	初期値
＊355	[i･ナンバーの設定] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:なし

D_0D_0 外線番号		01	03	05
D_1 i･ﾅﾝﾊﾞｰ	0 なし			
	1 あり			

コマンド	データ	初期値
＊356	[i･ナンバーのポート番号に対応する電話番号]	00000:なし

※空欄にD_2…D_2のﾃﾞｰﾀ(～6-X版:電話番号下4桁/7-1版～:電話番号下4～11桁)を記入
注：なし＝00000、一般着信＝99999

D_0D_0 外線番号	D_1 ﾎﾟｰﾄ番号	D_2…D_2 電話番号	D_0D_0 外線番号	D_1 ﾎﾟｰﾄ番号	D_2…D_2 電話番号	D_0D_0 外線番号	D_1 ﾎﾟｰﾄ番号	D_2…D_2 電話番号
01	1		03	1		05	1	
	2			2			2	
	3			3			3	

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊360	［ストレートラインDIの設定］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ	［昼］0:一般のDI ［夜］0:一般のDI

	0:一般のDI	1:ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI
D_0 DI機能(昼)		
D_1 DI機能(夜)		

＊361 ［ストレートラインDIのDI加入者番号］ 設定なし

※空欄にD_2(D_2…D_2)のﾃﾞｰﾀ(～6-X版:ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号下1～4桁/7-1版～:ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号下1～11桁)を記入

D_0D_0 DILIN番号	D_1 項番 1	D_1 項番 2
01		
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		
11		
12		

D_0D_0 DILIN番号	D_1 項番 1	D_1 項番 2
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		

＊362 ［電話機グループ毎のDILINボタンの設定］ 00:設定なし

※空欄にD_2D_2のﾃﾞｰﾀ(対応DILIN番号01～24)を記入

D_1D_1 対象ﾎﾞﾀﾝ	D_0D_0 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 01	02	03
01			
02			
03			
04			
05			
06			
07			
08			
09			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

＊364 ［外線自動発信時の自動割付DILIN番号］ ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(DILIN番号01～24)を記入 00:設定なし

$D_0D_0D_0$	収容位置	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2D_2	対象DILIN番号												

$D_0D_0D_0$	収容位置	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2D_2	対象DILIN番号												

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊365	[**DILIN番号毎の外線代表ｸﾞﾙｰﾌﾟ**]　※空欄に代表ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(00～03)を記入	00:ｸﾞﾙｰﾌﾟ00

D_0D_0 DILIN番号	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
D_2D_2 代表ｸﾞﾙｰﾌﾟ												

D_0D_0 DILIN番号	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
D_2D_2 代表ｸﾞﾙｰﾌﾟ												

＊366 [**DILIN別発信規制**]　※空欄にD_3のﾃﾞｰﾀ(発信不可:0、発信可:1)を記入　1:全DILIN番号発信可

$D_0D_0D_0$ 収容位置	D_2D_2 DILIN番号 01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
101																								
102																								
103																								
104																								
105																								
106																								
107																								
108																								
109																								
110																								
111																								
112																								
137																								
138																								
139																								
140																								
141																								
142																								
143																								
144																								
145																								
146																								
147																								
148																								

＊370 [**FAX受信 ボタンに対応するFAX**]　※空欄にFAXの収容位置を記入　000:なし

D_0D_0 FAX受信ﾎﾞﾀﾝ	01	02	03	04	05	06
$D_1D_1D_1$ FAXの収容位置						

＊372 [**FAXのCNG信号検出待ち時間**]　3:4秒

D	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
CNG検出待ち時間	1秒	2秒	3秒	4秒	5秒	6秒	7秒	8秒	9秒	10秒

＊373 [**FAX応答待ち時間**]　3:20秒

D	0	1	2	3
FAX応答待ち時間	5秒	10秒	15秒	20秒

＊374 [**送受器戻し時のFAXへの自動転送**]　00:機能なし

DD	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
応答後の時間	機能なし	2秒	4秒	6秒	8秒	10秒	12秒	14秒	16秒	18秒	20秒

＊375 [**FAX疑似呼出音(RBT)の送出**]　1:あり

D	0	1
疑似呼出音(RBT)送出	なし	あり

＊377 [**FAX話中時の外線切断有無**]　1:あり

D	0	1
外線切断	なし	あり

＊378 [**外線毎の対象FAX**]　※空欄にFAXの収容位置を記入　000:なし

D_0D_0 外線番号	01	02	03	04	05	06	07	08
$D_1D_1D_1$ FAXの収容位置								

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値

＊379

［**DILIN番号毎の対象FAX**］ ※空欄にFAXの収容位置を記入

D_0D_0 DILIN番号	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
$D_1D_1D_1$ FAXの収容位置												

D_0D_0 DILIN番号	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
$D_1D_1D_1$ FAXの収容位置												

初期値：000:なし

＊380

［**外線お待たせメッセージのモード設定**］

D	0	1
ﾓｰﾄﾞ	自動ﾓｰﾄﾞ	手動ﾓｰﾄﾞ

初期値：0:自動ﾓｰﾄﾞ

＊381

［**外線お待たせメッセージの有無とメッセージの選択**］

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1D_1 お待たせﾒｯｾｰｼﾞの種類							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1D_1	00	09	10	11	12	13	14	20	21	22	23	24
お待たせﾒｯｾｰｼﾞの種類	機能なし	外部音源(EXU)	RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ	RECU 1-1	RECU 1-2	RECU 1-3	RECU 1-4	RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ	RECU 2-1	RECU 2-2	RECU 2-3	RECU 2-4

初期値：00:機能なし

＊382

［**外線お待たせメッセージ送出時間**］

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1 お待たせﾒｯｾｰｼﾞの送出時間							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	0	1	2	3
お待たせﾒｯｾｰｼﾞ送出時間	8秒	16秒	32秒	64秒

初期値：0:8秒

＊383

［**外線お待たせメッセージの切断処理**］

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1D_1 切断処理							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1D_1	00	07	08	09	11	12	13	14	21	22	23	24
切断処理	ﾒｯｾｰｼﾞなし(外線切断)	RECUで代行録音	外付け留守番電話機に転送	外部音源(EXU)	RECU 1-1	RECU 1-2	RECU 1-3	RECU 1-4	RECU 2-1	RECU 2-2	RECU 2-3	RECU 2-4

初期値：00:ﾒｯｾｰｼﾞなし(外線切断)

＊384

［**外線お待たせメッセージの切断メッセージ送出時間**］

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1 切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	0	1	2	3
切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間	4秒	8秒	12秒	16秒

初期値：1:8秒

＊385

［**外線お待たせメッセージの保留時間**］

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1 保留時間							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
保留時間	10秒	20秒	30秒	40秒	50秒	60秒	70秒	80秒	30分

初期値：3:30秒

＊386

［**外線お待たせメッセージの自動解除時間**］

D	1	2	3	4	5	6	7	8	9
解除時間	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間

初期値：1:1時間

＊387

［**外線お待たせメッセージの保留警報有無**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2 保留警報鳴動	0	着信鳴動設定に従う												
	1	鳴動なし												
	2	鳴動あり												

$D_0D_0D_0$ 収容位置			137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2 保留警報鳴動	0	着信鳴動設定に従う												
	1	鳴動なし												
	2	鳴動あり												

初期値：0:着信鳴動設定に従う

＊389 (7-1版～)

［**外線お待たせメッセージ送出までの一般着信時間**］

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1 一般着信時間							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	0	1	2	3	4	5	6
一般着信時間	一般着信なし	5秒	10秒	15秒	20秒	25秒	30秒

初期値：0:一般着信なし

外線着信系コマンド

<table>
<tr><th>コマンド</th><th>データ</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊390</td><td>[応答専用モードの応答メッセージ選択方法]
<table>
<tr><td>D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>01</td><td>02</td><td>03</td><td>04</td><td>05</td><td>06</td><td>07</td></tr>
<tr><td>D_1 ﾒｯｾｰｼﾞ指定</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入
<table>
<tr><td>D_1</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ﾒｯｾｰｼﾞ指定</td><td>ﾕｰｻﾞ任意指定</td><td>昼/夜間ﾓｰﾄﾞ毎指定</td></tr>
</table></td><td>0:ﾕｰｻﾞ任意指定</td></tr>
<tr><td>＊391</td><td>[応答専用モードの応答メッセージ送出時間]
<table>
<tr><td>D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>01</td><td>02</td><td>03</td><td>04</td><td>05</td><td>06</td><td>07</td></tr>
<tr><td>D_1 送出時間</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入
<table>
<tr><td>D_1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr>
<tr><td>送出時間</td><td>8秒</td><td>16秒</td><td>32秒</td><td>64秒</td></tr>
</table></td><td>1:16秒</td></tr>
<tr><td>＊392</td><td>[応答専用モードの応答メッセージ送出後の処理]
<table>
<tr><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td>処理</td><td>切断</td><td>一般着信</td></tr>
</table></td><td>0:切断</td></tr>
<tr><td>＊393</td><td>[応答メッセージ送出までの一般着信時間]
<table>
<tr><td>D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>01</td><td>02</td><td>03</td><td>04</td><td>05</td><td>06</td><td>07</td></tr>
<tr><td>D_1 一般着信時間</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入
<table>
<tr><td>D_1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr>
<tr><td>一般着信時間</td><td>一般着信なし</td><td>5秒</td><td>10秒</td><td>15秒</td><td>20秒</td><td>25秒</td><td>30秒</td></tr>
</table></td><td>0:一般着信なし</td></tr>
<tr><td>＊394</td><td>[応答専用モードの応答メッセージ番号の選択]
<table>
<tr><td>D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>01</td><td>02</td><td>03</td><td>04</td><td>05</td><td>06</td><td>07</td></tr>
<tr><td>D_1 ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入
<table>
<tr><td>D_1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr>
<tr><td>ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ0</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ1</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ2</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ3</td></tr>
</table></td><td>0:ﾒｯｾｰｼﾞ0</td></tr>
<tr><td>＊395</td><td>[応答専用モードの応答メッセージ番号と音源の対応]
<table>
<tr><td colspan="2">D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>01</td><td>02</td><td>03</td><td>04</td><td>05</td><td>06</td><td>07</td></tr>
<tr><td rowspan="4">D_1
ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>0</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>1</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入
<table>
<tr><td>D_2D_2</td><td>09</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr>
<tr><td>対応音源</td><td>外部音源(EXU)</td><td>RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>RECU 1-1</td><td>RECU 1-2</td><td>RECU 1-3</td><td>RECU 1-4</td><td>RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>RECU 2-1</td><td>RECU 2-2</td><td>RECU 2-3</td><td>RECU 2-4</td></tr>
</table></td><td>[ﾒｯｾｰｼﾞ0]
10:RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ
[ﾒｯｾｰｼﾞ1～3]
11:RECU1-1</td></tr>
<tr><td>＊396</td><td>[応答専用モードの応答メッセージの選択(昼/夜間モード毎)]
<table>
<tr><td colspan="2">D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>01</td><td>02</td><td>03</td><td>04</td><td>05</td><td>06</td><td>07</td></tr>
<tr><td rowspan="5">D_1
昼夜区分</td><td>0</td><td>昼</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>1</td><td>夜</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2</td><td>外出</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>休日</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>4</td><td>全て</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入
<table>
<tr><td>D_2D_2</td><td>09</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr>
<tr><td>音源</td><td>外部音源(EXU)</td><td>RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>RECU 1-1</td><td>RECU 1-2</td><td>RECU 1-3</td><td>RECU 1-4</td><td>RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>RECU 2-1</td><td>RECU 2-2</td><td>RECU 2-3</td><td>RECU 2-4</td></tr>
</table></td><td>10:RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊400	[自動BT返送機能の設定] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(なし:0、あり:1)を記入 D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 / 01 02 03 04 05 06 07 D_1 BT返送 /	0:なし
＊401	[非通知着信拒否の拒否モード] D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 / 01 02 03 04 05 06 07 D_1 拒否ﾓｰﾄﾞ /	2:ﾒｯｾｰｼ送出
	※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1 / 1 / 2 拒否ﾓｰﾄﾞ / BT送出 / ﾒｯｾｰｼﾞ送出	
＊402	[非通知着信拒否時の送出メッセージ] D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 / 01 02 03 04 05 06 07 D_1D_1 送出ﾒｯｾｰｼﾞの種類 /	10:RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ
	※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1D_1 / 10 / 11 / 12 / 13 / 14 / 20 / 21 / 22 / 23 / 24 送出ﾒｯｾｰｼﾞの種類 / RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ / RECU 1-1 / RECU 1-2 / RECU 1-3 / RECU 1-4 / RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ / RECU 2-1 / RECU 2-2 / RECU 2-3 / RECU 2-4	
＊403	[非通知着信拒否/発番号識別着信拒否メッセージ送出時間] D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 / 01 02 03 04 05 06 07 D_1 送出時間 /	1:16秒
	※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1 / 0 / 1 / 2 / 3 送出時間 / 8秒 / 16秒 / 32秒 / 64秒	
＊404 (6-1版～)	[非通知着信拒否の着信種別] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(拒否OFF:0、拒否ON:1)を記入 D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 / 01 02 03 04 05 06 07 D_1 非通知 / D_2 公衆電話 / D_3 表示圏外 /	1,0,0:非通知のみ拒否
＊405 (4-1版～)	[非通知拒否 ボタンの適用外線] D / 0 / 1 適用外線 / ﾃﾅﾝﾄ毎 / ｼｽﾃﾑ一括	0:ﾃﾅﾝﾄ毎
＊406	[発番号識別着信拒否の拒否モード] D / 1 / 2 拒否ﾓｰﾄﾞ / BT送出 / ﾒｯｾｰｼﾞ送出	1:BT送出
＊407	[発番号識別着信拒否時の送出メッセージ] DD / 10 / 11 / 12 / 13 / 14 / 20 / 21 / 22 / 23 / 24 送出ﾒｯｾｰｼﾞの種類 / RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ / RECU 1-1 / RECU 1-2 / RECU 1-3 / RECU 1-4 / RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ / RECU 2-1 / RECU 2-2 / RECU 2-3 / RECU 2-4	10:RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ
＊410	[ナンバー・ディスプレイ機能の有無] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号 / 01 02 03 04 05 06 D_2 機能の有無 / 0 なし / 1 あり	0:なし
＊411	[ナンバー・ディスプレイ機能の受信データエラー時の処理] D / 0 / 1 受信ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ時の処理 / 着信 / 発呼者BT	0:着信
＊412	[ナンバー・ディスプレイ時の着番号/転送元番号表示] D / 0 / 1 / 2 表示 / 通常(発番号) / 着番号 / 転送元番号	0:通常(発番号)
＊413	[ナンバー・ディスプレイ時の着番号CTI出力] D / 0 / 1 / 2 / 3 / 4 出力 / 着番号出力なし / 着番号出力あり / iZ2仕様 / iZ2仕様2 / 送受信あり (9-1版～)	0:着番号出力なし
＊414	[ナンバー・ディスプレイ時の通話中名称表示有無] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 / 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 名称表示 / 0 なし / 1 あり	1:あり

外線着信系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊416	[発番号表示桁数の設定(発サブアドレス表示の有無)] D: 0 = 11桁(あり)、1 = 16桁(なし) (発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ表示)	1:16桁(なし)
＊417	[ネーム・ディスプレイの優先表示] D: 0 = 電話帳名称、1 = 網からの名称 (優先表示)	0:電話帳名称
＊418	[システム一括の着信履歴表示] D: 0 = なし、1 = あり (ｼｽﾃﾑ一括表示有無)	0:なし
＊419	[着信履歴の初期画面] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置: 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 初期画面: 0 一覧表示(4件)、1 詳細表示(1件)	0:一覧表示(4件)
＊420 (3-1版～)	[非通知着信の履歴有無] D: 0 = なし、1 = あり (非通知着信履歴有無)	0:なし
＊421	[他TEL着信履歴の表示可否] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置: 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2 表示可否: 0 不可、1 可	0:不可
＊422 (6-1版～)	[自動折り返し発信機能適用外線/DI番号] ※D_1:空欄該当部分をﾏｰｸ、$D_2(D_2 \cdots D_2)$:外線番号/ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号を記入 D_0 項番 / D_1 回線区分: 1 一般回線、2 DI回線 / $D_2(D_2 \cdots D_2)$ 対象外線/ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号: 外線番号、ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号(～6-X版:最大4桁/7-1版～:最大11桁) 1 2	1,00:設定なし
＊423 (6-1版～)	[自動折り返し発信機能適用発信者電話番号] ※空欄に電話番号を記入 D_0D_0 項番 / $D_1(D_1 \cdots D_1)$ 対象電話番号 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	設定なし
＊425 (6-1版～)	[自動折り返し発信機能の有無] D: 0 = なし、1 = あり (自動折り返し発信機能)	0:なし
＊426 (7-1版～)	[重複着信無効機能とチェック時間] D_0D_0 外線番号: 01 03 05 D_1 ﾁｪｯｸ時間 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1: 0 = 機能なし、1 = 1秒、2 = 2秒、3 = 3秒、4 = 4秒、5 = 5秒、6 = 6秒、7 = 7秒 (ﾁｪｯｸ時間)	0:機能なし
＊427 (7-1版～)	[重複着信無効機能の適用範囲] D: 0 = 同一発番号/同一非通知理由、1 = 同一発番号 (適用範囲)	0:同一発番号/同一非通知理由
＊429 (7-1版～)	[非通知着信履歴の適用範囲] D: 0 = 非通知理由受信時+相手不明時、1 = 非通知理由受信時のみ (適用範囲)	0:非通知理由受信時＋相手不明時

外線保留・転送系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊500	[保留ボタンによる外線保留応答] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 保留応答 0 なし / 1 あり $D_0D_0D_0$ 収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2 保留応答 0 なし / 1 あり	[収容位置101～106] [収容位置109～112] 0:なし [収容位置137～148] 1:あり
＊501	[保留ボタンによる外線自動保留] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 外線自動留の有無 0 なし / 1 あり $D_0D_0D_0$ 収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2 外線自動留の有無 0 なし / 1 あり	1:あり
＊502	[外線自動保留時の保留状態] D: 0 保留状態 一般保留 / 1 自己保留	0:一般保留
＊503	[保留音の選択] D: 1 ﾒﾛﾃﾞｨ番号 ﾒﾛﾃﾞｨ1 / 2 ﾒﾛﾃﾞｨ2 / 3 ﾒﾛﾃﾞｨ3 / 4 ﾒﾛﾃﾞｨ4	3:ﾒﾛﾃﾞｨ3
＊504	[外線保留音種別] D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 01 02 03 04 05 06 07 D_1D_1 保留音源 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1D_1 保留音源: 00 内蔵保留音 / 09 外部音源(EXU) / 11 RECU 1-1 / 12 RECU 1-2 / 13 RECU 1-3 / 14 RECU 1-4 / 21 RECU 2-1 / 22 RECU 2-2 / 23 RECU 2-3 / 24 RECU 2-4	00:内蔵保留音
＊505	[単独電話機の保留番号] D: 00 保留番号 機能なし / 1 1 / 2 2 / 3 3 / 4 4 / 5 5 / 6 6 / 7 7 / 8 8 / 9 9 / 0 0	2:2
＊506	[ボタン電話機の特番保留] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 特番保留 0 なし / 1 あり	0:なし
＊507	[単独電話機の保留戻り番号] D: 00 戻り番号 機能なし / 1 1 / 2 2 / 3 3 / 4 4 / 5 5 / 6 6 / 7 7 / 8 8 / 9 9 / 0 0	2:2
＊508	[保留警報時間] D: 0 時間 機能なし / 1 30秒 / 2 60秒 / 3 90秒	0:機能なし
＊509	[他グループの保留外線自動選択応答] D: 0 自動選択応答 不可 / 1 可	1:可
＊510	[相手応答前の外線自動保留規制] D: 0 外線自動保留規制 なし / 1 あり	1:あり

外線保留・転送系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊520	[**オンフック転送機能**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:不可

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2 ｵﾝﾌｯｸ転送	0	不可												
	1	可												
	2	内線のみ可												

$D_0D_0D_0$ 収容位置			137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2 ｵﾝﾌｯｸ転送	0	不可												
	1	可												
	2	内線のみ可												

＊521	[**外線簡易転送機能**]	1:可

D	0	1	2
可否	不可	可	可(ｵﾝﾌｯｸ操作でも可)

＊522	[**オートマチックリコール時間**]	2:20秒

D	0	1	2	3
時間	機能なし	10秒	20秒	30秒

＊523	[**不完全転送時の保留警報鳴動**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:なし

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2 保留警報鳴動	0	なし												
	1	あり												

$D_0D_0D_0$ 収容位置			137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2 保留警報鳴動	0	なし												
	1	あり												

＊524	[**SDT聴取時のオンフック処理**]	0:呼び返し

D	0	1
SDT聴取時のｵﾝﾌｯｸ処理	呼び返し	保留

外線系その他のコマンド

コマンド	データ	初期値
＊600	[**転送電話の発信外線**] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(0:発信不可/1:発信可)を記入	0,0:昼/夜 発信不可

D_0D_0 外線番号	01	02	03	04	05	06	07	08
D_2 発信の可否(昼)								
D_3 発信の可否(夜)								

＊601 [**留守番機能のモード選択と転送先選択**]
※空欄にﾓｰﾄﾞ(01～12：右下の表参照)、転送先番号(1～6)を記入

全ﾃﾅﾝﾄ
07:留守録ﾓｰﾄﾞ

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1D_1 ﾓｰﾄﾞ	D_2 転送先番号(1ｹ所目)	D_3 転送先番号(2ｹ所目)
01			
02			
03			
04			
05			
06			
07			

D_1D_1	ﾓｰﾄﾞ
01	通常転送ﾓｰﾄﾞ
02	追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ
03	ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ
04	不応答後転送ﾓｰﾄﾞ
05	不応答後追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ
06	不応答後ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ
07	留守録ﾓｰﾄﾞ
08	応答専用ﾓｰﾄﾞ
09	お話し中ﾓｰﾄﾞ
10	発信者選択ﾓｰﾄﾞ(転送/留守録)
11	通常着信ﾓｰﾄﾞ
12	留守録+転送ﾓｰﾄﾞ (7-1版～)

＊602 [**転送電話レベル設定**]

D	0	1	2	3	4	5	6	7
転送電話ﾚﾍﾞﾙ	0dB	2dB	4dB	6dB	8dB	10dB	12dB	14dB

4:8dB

＊603 (7-1版～) [**転送電話の転送メッセージ**]

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1D_1 転送ﾒｯｾｰｼﾞの種類							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_2D_2	00	10	11	12	13	14	20	21	22	23	24
対応音源	機能なし	RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ	RECU 1-1	RECU 1-2	RECU 1-3	RECU 1-4	RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ	RECU 2-1	RECU 2-2	RECU 2-3	RECU 2-4

00:機能なし

＊604 (7-1版～) [**転送電話の転送メッセージ送出時間**]

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1 転送ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	0	1	2	3
転送ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間	4秒	8秒	12秒	16秒

1:8秒

＊605 [**転送電話の切断処理**]

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1D_1 切断処理							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1D_1	00	07	08	09	11	12	13	14	21	22	23	24
切断処理	転送継続/外線切断	RECUで代行録音	外付け留守番電話機に転送	外部音源(EXU)	RECU 1-1	RECU 1-2	RECU 1-3	RECU 1-4	RECU 2-1	RECU 2-2	RECU 2-3	RECU 2-4

00:転送継続/外線切断

＊606 [**転送電話の切断メッセージ送出時間**]

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	01	02	03	04	05	06	07
D_1 切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間							

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	0	1	2	3
切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間	4秒	8秒	12秒	16秒

1:8秒

＊607 [**転送先応答時のメッセージ送出用RECU**]

D	1	2
使用RECU	RECU1	RECU2

2:RECU2

＊608 [**転送先応答時のメッセージ送出有無**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号		01	02	03	04	05	06	07	99
D_1	0 なし								
ﾒｯｾｰｼﾞ送出	1 あり								

(7-1版～)

0:なし

＊609 [**転送電話の転送中着信表示**]

D	0	1
着信表示	なし	あり

0:なし

外線系その他のコマンド

コマンド	データ	初期値
＊610	[転送電話の転送先呼出時間]	4:50秒
＊611	[転送電話通話時間]	03:30分
＊612	[転送電話の発信外線の種類]	1:同一ﾃﾅﾝﾄ
＊615	[特定発番号の留守番機能 － 発番号の登録] (1/2:テナント01～05) ※空欄に特定発番号を記入	設定なし

D	1	2	3	4	5	6	7	8	9
転送先呼出時間	20秒	30秒	40秒	50秒	60秒	70秒	80秒	90秒	100秒

DD	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
転送電話通話時間(分)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150

D	0	1
発信外線	ｼｽﾃﾑ	同一ﾃﾅﾝﾄ

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1D_1 項番	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 特定発番号	D_1D_1 項番	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 特定発番号
01	01		11	
	02		12	
	03		13	
	04		14	
	05		15	
	06		16	
	07		17	
	08		18	
	09		19	
	10		20	
02	01		11	
	02		12	
	03		13	
	04		14	
	05		15	
	06		16	
	07		17	
	08		18	
	09		19	
	10		20	
03	01		11	
	02		12	
	03		13	
	04		14	
	05		15	
	06		16	
	07		17	
	08		18	
	09		19	
	10		20	
04	01		11	
	02		12	
	03		13	
	04		14	
	05		15	
	06		16	
	07		17	
	08		18	
	09		19	
	10		20	
05	01		11	
	02		12	
	03		13	
	04		14	
	05		15	
	06		16	
	07		17	
	08		18	
	09		19	
	10		20	

コマンド	データ	初期値
＊615	[特定発番号の留守番機能 － 発番号の登録] (2/2:テナント06、07) ※空欄に特定発番号を記入	なし

D_0D_0 テナント番号	D_1D_1 項番	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 特定発番号	D_1D_1 項番	$D_2(D_2 \cdots D_2)$ 特定発番号
06	01		11	
	02		12	
	03		13	
	04		14	
	05		15	
	06		16	
	07		17	
	08		18	
	09		19	
	10		20	
07	01		11	
	02		12	
	03		13	
	04		14	
	05		15	
	06		16	
	07		17	
	08		18	
	09		19	
	10		20	

コマンド	データ	初期値
＊616	[特定発番号の留守番機能 － モード選択と転送先選択] (1/2：テナント01～03) ※空欄にﾓｰﾄﾞ(01～12：右下の表参照)、転送先番号(1～6)を記入	11:通常着信ﾓｰﾄﾞ

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1D_1 項番	D_2D_2 ﾓｰﾄﾞ	D_3 転送先番号(1ｹ所目)	D_4 転送先番号(2ｹ所目)	D_1D_1 項番	D_2D_2 ﾓｰﾄﾞ	D_3 転送先番号(1ｹ所目)	D_4 転送先番号(2ｹ所目)
01	01				11			
	02				12			
	03				13			
	04				14			
	05				15			
	06				16			
	07				17			
	08				18			
	09				19			
	10				20			
02	01				11			
	02				12			
	03				13			
	04				14			
	05				15			
	06				16			
	07				17			
	08				18			
	09				19			
	10				20			
03	01				11			
	02				12			
	03				13			
	04				14			
	05				15			
	06				16			
	07				17			
	08				18			
	09				19			
	10				20			

D_2D_2	ﾓｰﾄﾞ
01	通常転送ﾓｰﾄﾞ
02	追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ
03	ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ
04	不応答後転送ﾓｰﾄﾞ
05	不応答後追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ
06	不応答後ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ
07	留守録ﾓｰﾄﾞ
08	応答専用ﾓｰﾄﾞ
09	お話し中ﾓｰﾄﾞ
10	発信者選択ﾓｰﾄﾞ(転送/留守録)
11	通常着信ﾓｰﾄﾞ
12	留守録+転送ﾓｰﾄﾞ(7-1版～)

コマンド	データ	初期値
＊616	[特定発番号の留守番機能 － モード選択と転送先選択](2/2:テナント04～07) ※空欄にﾓｰﾄﾞ(01～12：右下の表参照)、転送先番号(1～6)を記入	11:通常着信ﾓｰﾄﾞ
＊617	[転送呼出中の処理]	0:疑似呼出音(RBT)
＊618	[転送電話追っかけモードリトライ]	0:最初の相手にﾘﾄﾗｲする(追っかけない)

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1D_1 項番	D_2D_2 ﾓｰﾄﾞ	D_3 転送先番号(1ｹ所目)	D_4 転送先番号(2ｹ所目)	D_1D_1 項番	D_2D_2 ﾓｰﾄﾞ	D_3 転送先番号(1ｹ所目)	D_4 転送先番号(2ｹ所目)
04	01				11			
	02				12			
	03				13			
	04				14			
	05				15			
	06				16			
	07				17			
	08				18			
	09				19			
	10				20			
05	01				11			
	02				12			
	03				13			
	04				14			
	05				15			
	06				16			
	07				17			
	08				18			
	09				19			
	10				20			
06	01				11			
	02				12			
	03				13			
	04				14			
	05				15			
	06				16			
	07				17			
	08				18			
	09				19			
	10				20			
07	01				11			
	02				12			
	03				13			
	04				14			
	05				15			
	06				16			
	07				17			
	08				18			
	09				19			
	10				20			

D_2D_2	ﾓｰﾄﾞ
01	通常転送ﾓｰﾄﾞ
02	追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ
03	ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ
04	不応答後転送ﾓｰﾄﾞ
05	不応答後追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ
06	不応答後ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ
07	留守録ﾓｰﾄﾞ
08	応答専用ﾓｰﾄﾞ
09	お話し中ﾓｰﾄﾞ
10	発信者選択ﾓｰﾄﾞ(転送/留守録)
11	通常着信ﾓｰﾄﾞ
12	留守録+転送ﾓｰﾄﾞ 7-1版～

D	0	1
転送呼出中の処理	疑似呼出音(RBT)	発信側の回線の音

D	0	1
ﾘﾄﾗｲ方法	最初の相手にﾘﾄﾗｲする(追っかけない)	次の相手にﾘﾄﾗｲする(追っかける)

外線系その他のコマンド

コマンド	データ	初期値
＊619	［転送電話の転送先電話番号の登録］ ※空欄に転送先電話番号を記入	なし

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1 転送先番号	D_3(D_3…D_3) 電話番号 D_2 1(前半)	D_2 2(後半)
01	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
02	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
03	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
04	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
05	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
06	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
07	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		

＊620 ［外線手動転送時の外線自動発信］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ　　1:あり

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2 外線自動発信	0	なし												
	1	あり												

$D_0D_0D_0$ 収容位置			137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2 外線自動発信	0	なし												
	1	あり												

＊621 ［外線手動転送時のコールバック機能］　　0:なし

D	0	1
外線手動転送時のｺｰﾙﾊﾞｯｸ	なし	あり

＊622 ［ISDN－アナログ外線間の転送電話可否］　　0:不可

D	0	1
ISDN－ｱﾅﾛｸﾞ外線間の転送電話	不可	可

＊623 ［転送電話の同－DILIN番号による発信］　　0:同－DILIN

D	0	1
DILIN番号	同－DILIN	ｼｽﾃﾑ

外線系その他のコマンド

コマンド	データ	初期値
＊624	［**不応答転送の不応答時間**］ ＤＤ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 不応答時間(秒) 3 6 9 12 15 18 21 24 27 30 33 36 39 42 45 ＤＤ 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 不応答時間(秒) 48 51 54 57 60 63 66 69 72 75 78 81 84 87 90	04:12秒
＊625	［**転送電話リトライ回数**］ ※空欄に設定回数を記入 ＤＤ 01～15 ﾘﾄﾗｲ回数 回	15:15回
＊628	［**転送先への転送電話通知**］ D 0 1 転送電話通知の有無 なし あり	0:なし
＊631	［**外線割込通話の可否**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2 0 不可 割込通話 1 可	0:不可
＊632	［**外線被割込通話の可否**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2 0 不可 被割込 1 可 $D_0D_0D_0$ 収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2 0 不可 被割込 1 可	1:可
＊633	［**外線被割込通話時のアラーム送出**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 0 なし ｱﾗｰﾑ送出 1 あり	0:なし
＊634	［**外線通話モニタ(聴話)の可否**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 0 不可 外線ﾓﾆﾀ 1 可 $D_0D_0D_0$ 収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2 0 不可 外線ﾓﾆﾀ 1 可	1:可
＊635	［**外線通話被モニタ(被聴話)の可否**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2 0 不可 被ﾓﾆﾀ 1 可 $D_0D_0D_0$ 収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2 0 不可 被ﾓﾆﾀ 1 可	1:可
＊636	［**外線通話被モニタ(被聴話)時のアラーム**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 0 なし ｱﾗｰﾑ送出 1 あり	0:なし

外線系その他のコマンド

コマンド	データ	初期値
＊640	[外線テナント種別] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号 / D_2 ﾃﾅﾝﾄ種別(昼) / D_3 ﾃﾅﾝﾄ種別(夜) 0 なし 1 着信ﾃﾅﾝﾄ 2 発着信ﾃﾅﾝﾄ 3 完全ﾃﾅﾝﾄ (01 02 03 04 05 06 07 08)	0,0:なし
＊641	[外線毎のテナント番号] ※空欄にﾃﾅﾝﾄ番号(01～07)を記入 D_0D_0 外線番号 / D_2D_2 ﾃﾅﾝﾄ番号 (01 02 03 04 05 06 07 08)	01:ﾃﾅﾝﾄ01
＊642	[電話機毎の使用可能テナント番号] ※空欄にD_3のﾃﾞｰﾀ(0:使用不可、または1:使用可)を記入 $D_0D_0D_0$ 収容位置 / D_2D_2 ﾃﾅﾝﾄ番号 (101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112) 01 02 03 04 05 06 07	01,1:使用可 02,1:使用可 ～ 06,1:使用可 07,1:使用可
＊643	[DILIN番号毎のテナント番号] ※空欄にﾃﾅﾝﾄ番号(01～07)を記入 D_0D_0 DILIN番号 / D_2D_2 ﾃﾅﾝﾄ番号 (01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12) D_0D_0 DILIN番号 / D_2D_2 ﾃﾅﾝﾄ番号 (13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24)	[全DILIN番号] 01:ﾃﾅﾝﾄ01
＊651	[外線の代表グループの設定] ※空欄に外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(00～03)を記入 D_0D_0 外線番号 / D_2D_2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 (01 02 03 04 05 06 07 08)	00:ｸﾞﾙｰﾌﾟ00
＊670	[3分予報音時間] D: 0 機能なし / 1 1分 / 2 2分 / 3 3分 / 4 4分 / 5 5分 / 6 6分 / 7 7分 時間	0:機能なし
＊671	[3分予報音送出条件] D: 0 発信外線のみ / 1 発信/着信外線共 送出条件	1:発信/着信 外線共
＊672	[電話機毎の3分予報音機能] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 / D_2 機能 0 なし 1 あり (101 102 103 104 105 106 109 110 111 112)	1:あり
＊673	[外線断線断時の連動リモコン] D: 0 なし / 1 ﾘﾓｺﾝ1 / 2 ﾘﾓｺﾝ2 / 3 ﾘﾓｺﾝ3 / 4 ﾘﾓｺﾝ4 対象ﾘﾓｺﾝ	0:なし
＊675	[自動トーン切替] D: 0 なし / 1 あり 機能	0:なし
＊677	[外線ボタンのユーザ設定可否] D: 0 不可 / 1 可 ﾕｰｻﾞ設定	1:可
＊678	[使用回線種別表示内容の設定] ※空欄に ＊679で設定した項番(1～8)または外線種別表示(0)を記入 D_0D_0 外線番号 / D_2 外線種別表示内容 (01 02 03 04 05 06 07 08)	0:外線種別表示

外線系その他のコマンド

コマンド	データ	初期値
＊679	[使用回線表示文字パターン] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ及び設定文字を記入	全桁ﾌﾞﾗﾝｸ

D_0 項番 ＼ 表示文字		1文字目		2文字目		3文字目		4文字目		5文字目		6文字目		7文字目		8文字目		9文字目		10文字目		11文字目		12文字目	
		D_{11}	D_{12}	D_{21}	D_{22}	D_{31}	D_{32}	D_{41}	D_{42}	D_{51}	D_{52}	D_{61}	D_{62}	D_{71}	D_{72}	D_{81}	D_{82}	D_{91}	D_{92}	D_{101}	D_{102}	D_{111}	D_{112}	D_{121}	D_{122}
1	項番1																								
2	項番2																								
3	項番3																								
4	項番4																								
5	項番5																								
6	項番6																								
7	項番7																								
8	項番8																								

		設定文字内容											
1	項番1												
2	項番2												
3	項番3												
4	項番4												
5	項番5												
6	項番6												
7	項番7												
8	項番8												

＊680	[留守録モードの応答メッセージ番号の選択] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:固定ﾒｯｾｰｼﾞ

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号			01	02	03	04	05	06	07
D_1 ﾒｯｾｰｼﾞ	0	固定ﾒｯｾｰｼﾞ							
	1	録音ﾒｯｾｰｼﾞ1							
	2	録音ﾒｯｾｰｼﾞ2							
	3	録音ﾒｯｾｰｼﾞ3							

＊681	[テナント毎に使用する留守録ボックス] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	1:留守録ﾎﾞｯｸｽ1

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号				01	02	03	04	05	06	07
D_2 使用する留守録ﾎﾞｯｸｽ	1	ﾎﾞｯｸｽ1	1CH							
	2	ﾎﾞｯｸｽ2								
	3	ﾎﾞｯｸｽ3	2CH							
	4	ﾎﾞｯｸｽ4								

＊682	[留守録自動応答までの時間] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	2:10秒

D_0 留守録CH		D_1 時間					
		1	2	3	4	5	6
		5秒	10秒	15秒	20秒	25秒	30秒
1	1CH						
2	2CH						

＊683	[切断処理時の留守録用応答メッセージ] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:固定ﾒｯｾｰｼﾞ

D_0 留守録CH		D_1 ﾒｯｾｰｼﾞ			
		0	1	2	3
		固定ﾒｯｾｰｼﾞ	録音ﾒｯｾｰｼﾞ1	録音ﾒｯｾｰｼﾞ2	録音ﾒｯｾｰｼﾞ3
1	1CH				
2	2CH				

＊684	[再生済用件メッセージ消去の有無] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:なし

D_0 留守録ﾎﾞｯｸｽ			D_1 ﾒｯｾｰｼﾞ消去	
			0	1
			なし	あり
1	ﾎﾞｯｸｽ1	1CH		
2	ﾎﾞｯｸｽ2			
3	ﾎﾞｯｸｽ3	2CH		
4	ﾎﾞｯｸｽ4			

外線系その他のコマンド

コマンド	データ	初期値
＊685	**[留守録/通話録音の最大録音時間]** ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀと設定時間(秒)を記入 D_0 留守録CH ／ D_1D_1 時間 01～90(10～900秒)/99(無制限) 1 1CH (秒/無制限) 2 2CH (秒/無制限)	90:900秒
＊686	**[発信者選択モードの応答メッセージ番号の選択]** ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 01 02 03 04 05 06 07 D_1 ﾒｯｾｰｼﾞ 0 ﾒｯｾｰｼﾞ0 1 ﾒｯｾｰｼﾞ1 2 ﾒｯｾｰｼﾞ2 3 ﾒｯｾｰｼﾞ3	0:ﾒｯｾｰｼﾞ0
＊687	**[発信者選択モードの応答メッセージ番号と音源の対応]** D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 01 02 03 04 05 06 07 D_1 ﾒｯｾｰｼﾞ 0 ﾒｯｾｰｼﾞ0 1 ﾒｯｾｰｼﾞ1 2 ﾒｯｾｰｼﾞ2 3 ﾒｯｾｰｼﾞ3 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_2D_2: 10 RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ1 / 11 RECU1-1 / 12 RECU1-2 / 13 RECU1-3 / 14 RECU1-4 / 15 RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ2 / 16 RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ3 / 20 RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ1 / 21 RECU2-1 / 22 RECU2-2 / 23 RECU2-3 / 24 RECU2-4 / 25 RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ2 / 26 RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ3 対応音源	[ﾒｯｾｰｼﾞ0] 10:RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ1 [ﾒｯｾｰｼﾞ1～3] 11:RECU1-1
＊688	**[発信者選択モードの応答メッセージ送出時間]** D: 0 1 2 3 送出時間: 8秒 16秒 32秒 64秒	2:32秒
＊689	**[発信者選択モードの無操作時の処理]** D: 0 1 2 3 無操作時の処理: 切断 転送 留守録 FAX呼出	0:切断
＊690	**[留守録用件録音時の録音通知先電話番号]** ※空欄に通知先電話番号を記入 D_0 留守録ﾎﾞｯｸｽ ／ $D_1(D_1 \cdots D_1)$ 通知先電話番号 1 ﾎﾞｯｸｽ1 1CH 2 ﾎﾞｯｸｽ2 3 ﾎﾞｯｸｽ3 2CH 4 ﾎﾞｯｸｽ4	なし
＊691	**[録音通知先無操作時のﾘﾄﾗｲ有無とﾘﾄﾗｲ間隔]** ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0 留守録CH ／ D_1 ﾘﾄﾗｲ機能とﾘﾄﾗｲ間隔 0 ﾘﾄﾗｲなし / 1 10分 / 2 20分 / 3 30分 / 4 40分 / 5 50分 / 6 60分 1 1CH 2 2CH	0:ﾘﾄﾗｲなし
＊692	**[留守録CH毎の電話機グループ]** ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0 留守録CH ／ D_1D_1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01 02 03 1 1CH 2 2CH	01:ｸﾞﾙｰﾌﾟ01
＊693 6-1版～	**[転送電話の自動通話録音]** ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号 01 02 03 04 05 06 07 D_1 自動録音 0 なし 1 あり	0:なし

コマンド	データ	初期値
＊698 (6-1版～)	[夜間切替タイマの時刻] (1/2:ﾃﾅﾝﾄ01～04) ※空欄に夜開始時刻、夜終了時刻を記入	0000,0000：なし
＊699 (6-1版～)	[夜間切替タイマ毎の留守番モード] (1/2:ﾃﾅﾝﾄ01～04) ※空欄にﾓｰﾄﾞ(01～12:下表参照)、ﾒｯｾｰｼﾞ(0～3)/転送先(1～6)を記入	07,0:留守録ﾓｰﾄﾞ, ﾒｯｾｰｼﾞ0

				*698		*699		
D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1 曜日		D_2 項番	$D_3D_3D_3D_3$ 夜開始時刻	$D_4D_4D_4D_4$ 夜終了時刻	D_3D_3 ﾓｰﾄﾞ	D_4 ﾒｯｾｰｼﾞ/転送先	D_5 転送先
01	0	日曜	1					
			2					
			3					
			4					
	1	月曜	1					
			2					
			3					
			4					
	2	火曜	1					
			2					
			3					
			4					
	3	水曜	1					
			2					
			3					
			4					
	4	木曜	1					
			2					
			3					
			4					
	5	金曜	1					
			2					
			3					
			4					
	6	土曜	1					
			2					
			3					
			4					
02	0	日曜	1					
			2					
			3					
			4					
	1	月曜	1					
			2					
			3					
			4					
	2	火曜	1					
			2					
			3					
			4					
	3	水曜	1					
			2					
			3					
			4					
	4	木曜	1					
			2					
			3					
			4					
	5	金曜	1					
			2					
			3					
			4					
	6	土曜	1					
			2					
			3					
			4					

				*698		*699		
D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1 曜日		D_2 項番	$D_3D_3D_3D_3$ 夜開始時刻	$D_4D_4D_4D_4$ 夜終了時刻	D_3D_3 ﾓｰﾄﾞ	D_4 ﾒｯｾｰｼﾞ/転送先	D_5 転送先
03	0	日曜	1					
			2					
			3					
			4					
	1	月曜	1					
			2					
			3					
			4					
	2	火曜	1					
			2					
			3					
			4					
	3	水曜	1					
			2					
			3					
			4					
	4	木曜	1					
			2					
			3					
			4					
	5	金曜	1					
			2					
			3					
			4					
	6	土曜	1					
			2					
			3					
			4					
04	0	日曜	1					
			2					
			3					
			4					
	1	月曜	1					
			2					
			3					
			4					
	2	火曜	1					
			2					
			3					
			4					
	3	水曜	1					
			2					
			3					
			4					
	4	木曜	1					
			2					
			3					
			4					
	5	金曜	1					
			2					
			3					
			4					
	6	土曜	1					
			2					
			3					
			4					

● ＊699のﾓｰﾄﾞ番号に対する留守番ﾓｰﾄﾞ

D_3D_3	ﾓｰﾄﾞ	D_3D_3	ﾓｰﾄﾞ	D_3D_3	ﾓｰﾄﾞ
01	通常転送ﾓｰﾄﾞ	05	不応答後追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ	09	お話し中ﾓｰﾄﾞ
02	追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ	06	不応答後ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ	10	発信者選択ﾓｰﾄﾞ(転送/留守録)
03	ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ	07	留守録ﾓｰﾄﾞ	11	通常着信ﾓｰﾄﾞ
04	不応答後転送ﾓｰﾄﾞ	08	応答専用ﾓｰﾄﾞ	12	留守録+転送ﾓｰﾄﾞ (7-1版～)

外線系その他のコマンド

コマンド	データ	初期値
＊698 (6-1版～)	［夜間切替タイマの時刻］（2/2：ﾃﾅﾝﾄ05～07,ﾄﾞｱﾎﾝ） ※空欄に夜開始時刻、夜終了時刻を記入	0000,0000：なし
＊699 (6-1版～)	［夜間切替タイマ毎の留守番モード］（2/2：ﾃﾅﾝﾄ05～07） ※空欄にﾓｰﾄﾞ(01～12:下表参照)、ﾒｯｾｰｼﾞ(0～3)/転送先(1～6)を記入	07,0:留守録ﾓｰﾄﾞ, ﾒｯｾｰｼﾞ0

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1 曜日		D_2 項番	*698 $D_3D_3D_3D_3$ 夜開始時刻	*698 $D_4D_4D_4D_4$ 夜終了時刻	*699 D_3D_3 ﾓｰﾄﾞ	*699 D_4 ﾒｯｾｰｼﾞ/転送先	*699 D_5 転送先
05	0	日曜	1					
			2					
			3					
			4					
	1	月曜	1					
			2					
			3					
			4					
	2	火曜	1					
			2					
			3					
			4					
	3	水曜	1					
			2					
			3					
			4					
	4	木曜	1					
			2					
			3					
			4					
	5	金曜	1					
			2					
			3					
			4					
	6	土曜	1					
			2					
			3					
			4					
06	0	日曜	1					
			2					
			3					
			4					
	1	月曜	1					
			2					
			3					
			4					
	2	火曜	1					
			2					
			3					
			4					
	3	水曜	1					
			2					
			3					
			4					
	4	木曜	1					
			2					
			3					
			4					
	5	金曜	1					
			2					
			3					
			4					
	6	土曜	1					
			2					
			3					
			4					

D_0D_0 ﾃﾅﾝﾄ番号	D_1 曜日		D_2 項番	*698 $D_3D_3D_3D_3$ 夜開始時刻	*698 $D_4D_4D_4D_4$ 夜終了時刻	*699 D_3D_3 ﾓｰﾄﾞ	*699 D_4 ﾒｯｾｰｼﾞ/転送先	*699 D_5 転送先
07	0	日曜	1					
			2					
			3					
			4					
	1	月曜	1					
			2					
			3					
			4					
	2	火曜	1					
			2					
			3					
			4					
	3	水曜	1					
			2					
			3					
			4					
	4	木曜	1					
			2					
			3					
			4					
	5	金曜	1					
			2					
			3					
			4					
	6	土曜	1					
			2					
			3					
			4					
99 ドアホン	0	日曜	1			—	—	—
			2			—	—	—
			3			—	—	—
			4			—	—	—
	1	月曜	1			—	—	—
			2			—	—	—
			3			—	—	—
			4			—	—	—
	2	火曜	1			—	—	—
			2			—	—	—
			3			—	—	—
			4			—	—	—
	3	水曜	1			—	—	—
			2			—	—	—
			3			—	—	—
			4			—	—	—
	4	木曜	1			—	—	—
			2			—	—	—
			3			—	—	—
			4			—	—	—
	5	金曜	1			—	—	—
			2			—	—	—
			3			—	—	—
			4			—	—	—
	6	土曜	1			—	—	—
			2			—	—	—
			3			—	—	—
			4			—	—	—

● ＊699のﾓｰﾄﾞ番号に対する留守番ﾓｰﾄﾞ

D_3D_3	ﾓｰﾄﾞ	D_3D_3	ﾓｰﾄﾞ	D_3D_3	ﾓｰﾄﾞ
01	通常転送ﾓｰﾄﾞ	05	不応答後追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ	09	お話し中ﾓｰﾄﾞ
02	追っかけ転送ﾓｰﾄﾞ	06	不応答後ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ	10	発信者選択ﾓｰﾄﾞ(転送/留守録)
03	ﾂｲﾝ転送ﾓｰﾄﾞ	07	留守録ﾓｰﾄﾞ	11	通常着信ﾓｰﾄﾞ
04	不応答後転送ﾓｰﾄﾞ	08	応答専用ﾓｰﾄﾞ	12	留守録+転送ﾓｰﾄﾞ (7-1版～)

内線系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊700	[内線呼出方法] D: 0 呼出方法 / 1 トーン呼出 / 音声呼出	0:トーン呼出
＊701	[トーン呼出の内線着信音選択] $D_0D_0D_0$ 収容位置: 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 着信音: ※空欄に設定データ(下表参照)を記入 D_2: 0 内線専用着信音 / 1 着信音1 / 2 着信音2 / 3 着信音3 / 4 着信音4	0:内線専用着信音
＊702	[オフフック内線自動捕捉] ※空欄該当部分をマーク $D_0D_0D_0$ 収容位置: 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2 自動捕捉: 0 なし / 1 あり $D_0D_0D_0$ 収容位置: 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2 自動捕捉: 0 なし / 1 あり	1:あり
＊703	[内線呼出適用範囲] D: 0 適用範囲 / 全内線 / 1 代理応答/内線保留グループ内	0:全内線
＊704	[一斉呼出／グループ呼出の可否] ※空欄該当部分をマーク $D_0D_0D_0$ 収容位置: 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 呼出: 0 不可 / 1 可	1:可
＊705	[一斉呼出／グループ呼出の冒頭音選択] D: 0 冒頭音 / なし / 1 500Hz断続音 / 2 1kHz断続音 / 3 500Hz連続音 / 4 1kHz連続音 / 5 EXU	0:なし
＊706	[内線音声呼出の冒頭音選択] D: 0 冒頭音 / なし / 1 500Hz断続音 / 2 1kHz断続音 / 3 500Hz連続音 / 4 1kHz連続音	1:500Hz断続音
＊707	[内線ホットライン] ※空欄に着信電話機収容位置を記入 $D_0D_0D_0$ 発信電話機収容位置: 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 $D_2D_2D_2$ 着信電話機収容位置:	000:設定なし
＊708	[リセットコール割込通話の有無] D: 0 リセットコール割込通話 / なし / 1 あり	0:なし
＊709	[外線通話中の内線着信鳴動] ※空欄該当部分をマーク $D_0D_0D_0$ 収容位置: 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 鳴動: 0 なし / 1 あり	0:なし
＊710	[電話機グループの設定] ※空欄にグループ番号(01～03)を記入 $D_0D_0D_0$ 収容位置: 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2D_2 グループ: $D_0D_0D_0$ 収容位置: 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2D_2 グループ:	01:グループ01

内線系コマンド

コマンド	データ	初期値
＊711	[内線代表の設定] ※空欄にｽﾗｲﾄﾞ先電話機収容位置を記入 $D_0D_0D_0$ 対象電話機収容位置 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 $D_1D_1D_1$ ｽﾗｲﾄﾞ先電話機収容位置 $D_0D_0D_0$ 対象電話機収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 $D_1D_1D_1$ ｽﾗｲﾄﾞ先電話機収容位置	000:設定なし
＊712	[応答遅延転送の転送時間] D: 1 応答遅延転送時間 10秒 D: 2 20秒 D: 3 30秒 D: 4 40秒 D: 5 50秒 D: 6 60秒 D: 7 70秒	3:30秒
＊713	[内線通話中のDSSボタン処理] D: 0 処理 自動保留 D: 1 処理 呼び直し	0:自動保留
＊714	[内線一般着信の有無] D: 0 内線一般着信 なし D: 1 内線一般着信 あり	0:なし
＊718	[代理応答/内線保留グループの設定] ※空欄にｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(00～03)を記入 $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2D_2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ $D_0D_0D_0$ 収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2D_2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ	00:ｸﾞﾙｰﾌﾟ00
＊720	[不在設定のオフフック解除の可否] D: 0 解除機能の可否 不可 D: 1 解除機能の可否 可	1:可
＊721	[不在表示の追加] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ及び設定文字を記入 D_0 設定ﾃﾞｰﾀ / 1文字目 D_{11} D_{12} / 2文字目 D_{21} D_{22} / 3文字目 D_{31} D_{32} / 4文字目 D_{41} D_{42} / 5文字目 D_{51} D_{52} / 6文字目 D_{61} D_{62} / 7文字目 D_{71} D_{72} / 8文字目 D_{81} D_{82} / 設定文字内容 0 不在状態番号5 1 不在状態番号6 2 不在状態番号7 3 不在状態番号8 4 不在状態番号9	全桁ﾌﾞﾗﾝｸ
＊722 7-1版～	[外線への不在転送範囲] $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2 着信回線の種類 $D_0D_0D_0$ 収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2 着信回線の種類 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_2: 0 着信回線の種類 外線 D_2: 1 着信回線の種類 外線+内線	0:外線
＊724	[不在転送の切断処理] DD: 00 切断処理 転送継続/外線切断 DD: 07 切断処理 RECUで代行録音 DD: 08 切断処理 外付け留守番電話機に転送 DD: 09 切断処理 外部音源(EXU) DD: 11 切断処理 RECU 1-1 DD: 12 切断処理 RECU 1-2 DD: 13 切断処理 RECU 1-3 DD: 14 切断処理 RECU 1-4 DD: 21 切断処理 RECU 2-1 DD: 22 切断処理 RECU 2-2 DD: 23 切断処理 RECU 2-3 DD: 24 切断処理 RECU 2-4	00:転送継続/外線切断
＊725	[不在転送の切断メッセージ送出時間] D: 0 切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間 4秒 D: 1 8秒 D: 2 12秒 D: 3 16秒	1:8秒
＊727	[PB信号受信端末の収容位置] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(PB信号受信端末の収容位置)を記入 D_0 項番 1 2 3 4 5 6 7 8 $D_1D_1D_1$ PB信号受信端末	000:設定なし

内線系コマンド

<table>
<tr><th>コマンド</th><th>データ</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊730
6-1版～</td><td>[内線パーク保留の有無]
<table><tr><th>D</th><th>0</th><th>1</th></tr><tr><td>内線ﾊﾟｰｸ保留の有無</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊731
6-1版～</td><td>[内線パーク ボタンの設定]
※空欄にD_2D_2のﾃﾞｰﾀ(電話機ﾎﾞﾀﾝ位置01～30)を記入
<table><tr><th rowspan="2">D_1D_1
項番</th><th colspan="3">D_0D_0
電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号</th></tr><tr><th>01</th><th>02</th><th>03</th></tr><tr><td>01</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>02</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>03</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>04</td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td><td>00:設定なし</td></tr>
<tr><td>＊732
6-1版～</td><td>[内線パーク ボタン毎の保留種別] ※空欄該当部分をﾏｰｸ
<table><tr><th rowspan="2">D_1
保留の種別</th><th colspan="4">D_0D_0 内線ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝ項番</th></tr><tr><th>01</th><th>02</th><th>03</th><th>04</th></tr><tr><td>0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ内</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1 ｼｽﾃﾑ共通</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td><td>0:ｸﾞﾙｰﾌﾟ内</td></tr>
<tr><td>＊733
6-1版～</td><td>[保留 ボタン操作での内線パーク保留時の処理]
<table><tr><th>D</th><th>0</th><th>1</th></tr><tr><td>保留 ﾎﾞﾀﾝの処理</td><td>ｸﾞﾙｰﾌﾟ内</td><td>ｼｽﾃﾑ共通</td></tr></table></td><td>0:ｸﾞﾙｰﾌﾟ内</td></tr>
</table>

電話機に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊800	［**キー押し確認音の有無**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 確認音 0 なし / 1 あり	1:あり
＊801	［**ハンズフリー対応電話機**］ ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(索線方式:000,1対1固定:収容位置)を記入 D_0D_0 回路番号 00(全回路) 01 02 $D_1D_1D_1$ 対応電話機	000:索線方式
＊802	［**受話音の高域カット有無**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 高域ｶｯﾄ 0 なし / 1 あり	0:なし
＊807	［**不在時自動ハンズフリー可否**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 不在時自動ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ 0 不可 / 1 可	1:可
＊810	［**時刻表示方法**］ D: 0 表示方法 12時間制 / 1 表示方法 24時間制	0:12時間制
＊812	［**外線発信時の通話時間表示**］ D: 0 表示 なし / 1 表示 あり	1:あり
＊813	［**外線着信時の通話時間表示**］ D: 0 表示 なし / 1 表示 あり	0:なし
＊816	［**内線番号／名称表示継続時間**］ D: 0 表示継続時間 0秒 / 1 10秒 / 2 15秒 / 3 20秒	0:0秒
＊817	［**待機時の外着音量表示**］ D: 0 表示 なし / 1 表示 あり	1:あり
＊818	［**LCDバックライトの点灯時間**］ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 点灯時間 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_2: 0 点灯時間 15秒 / 1 1分 / 2 2分 / 3 3分 / 4 4分 / 5 5分 / 6 常時消灯 / 7 常時点灯	0:15秒
＊819	［**LCDバックライトの通話中継続点灯**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 101 102 103 104 105 106 109 110 111 112 D_2 通話中継続点灯 0 なし / 1 あり	0:なし
＊820 3-1版～	［**外線着信音とバックライト色の連動**］ D_0 着信音 1 2 3 4 5 6 7 8 9 D_1 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ色 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1: 0 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ色 機能なし / 1 赤色 / 2 黄色 / 3 緑色 / 4 水色 / 5 青色 / 6 紫色 / 7 白色	0:機能なし
＊821 4-1版～	［**センサ着信時のバックライト色**］ D_0 着信音 0 1 2 3 D_1 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ色 ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1: 0 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ色 電話機毎 / 1 赤色 / 2 黄色 / 3 緑色 / 4 水色 / 5 青色 / 6 紫色 / 7 白色	0:電話機毎
＊822 7-1版～	［**相手不明時のLCD表示**］ D: 0 表示方法 「相手がわかりません」 / 1 表示方法 「相手不明」 / 2 表示方法 表示なし	0:「相手がわかりません」

電話機に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊840	[単独電話機のダイヤル種別設定] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 / 107 / 108 / 109 / 110 / 111 / 112 D_2 ﾀﾞｲﾔﾙ種別 / 0 DP / 1 PB	1:PB
＊841	[単独電話機の内線呼出インター] D / 0 / 1 ｲﾝﾀｰ / SIR / IR	0:SIR
＊842	[単独電話機のドアホン着信鳴動周期] D / 0 / 1 ﾄﾞｱﾎﾝ着信の鳴動周期 / ﾄﾞｱﾎﾝ着信音 / IR	0:ﾄﾞｱﾎﾝ着信音
＊843	[単独電話機のフッキング処理] D / 0 / 1 ﾌｯｷﾝｸﾞ処理 / (外線)ﾌｯｷﾝｸﾞ / ﾌｯｷﾝｸﾞ保留	1:ﾌｯｷﾝｸﾞ保留
＊844	[DP単独電話機のフッキング機能] D / 0 / 1 DP単独電話機のﾌｯｷﾝｸﾞ / 無効 / 有効	0:無効
＊845	[PB単独電話機のフッキング機能] D / 0 / 1 PB単独電話機のﾌｯｷﾝｸﾞ / 無効 / 有効	0:無効
＊846	[フッキング監視時間] D / 0 / 1 / 2 / 3 監視時間 / 約640ms以下 / 約896ms以下 / 約1152ms以下 / 約1408ms以下	3:約1408ms以下
＊847	[単独電話機のハウラー送出] D / 0 / 1 / 2 / 3 ﾊｳﾗｰ送出 / なし / 10秒 / 20秒 / 30秒	2:20秒
＊848	[PB単独電話機のPBレシーバ開放時間] D / 0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 PBﾚｼｰﾊﾞ開放時間 / 4秒 / 8秒 / 12秒 / 16秒 / 20秒 / 24秒 / 28秒 / 32秒	5:24秒
＊849	[PBレシーバ使用時のMFR使用] D / 0 / 1 MFR使用 / なし / あり	1:あり
＊850	[留守番電話機の収容位置] DDD / 収容位置	000:なし
＊851	[留守番電話機応答待ち時間] D / 0 / 1 / 2 / 3 留守番電話機応答待ち時間 / 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒	3:20秒
＊859 6-1版～	[アナログコードレスの一斉呼出可否] D / 0 / 1 / 2 呼出可否 / 不可 / 可(＊316のCLSを除く) / 可	0:不可

内線ボックスに関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9140	［**内線ボックスとRECUの対応**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ	1:留守録1CH

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2 使用する	1	1CH												
留守録CH	2	2CH												

$D_0D_0D_0$ 収容位置			137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2 使用する	1	1CH												
留守録CH	2	2CH												

＊9141	［**内線パスワード**］ ※空欄に設定番号を記入	0000：設定なし

$D_0D_0D_0$ 収容位置	$D_1D_1D_1D_1$ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	$D_0D_0D_0$ 収容位置	$D_1D_1D_1D_1$ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
101		137	
102		138	
103		139	
104		140	
105		141	
106		142	
107		143	
108		144	
109		145	
110		146	
111		147	
112		148	

＊9142	［**自動録音対象外線**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:なし

D_0D_0 外線番号			01	02	03	04	05	06	07	08
D_2	0	なし								
自動録音	1	あり								

＊9143	［**自動録音対象電話機**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:なし

$D_0D_0D_0$ 収容位置			101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112
D_2	0	なし												
自動録音	1	あり												

$D_0D_0D_0$ 収容位置			137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2	0	なし												
自動録音	1	あり												

外部機器に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9200	[ドアホン着信鳴動電話機(昼)] ※空欄に$D_2D_2D_2$のデータ(収容位置)を記入	[全ドアホン] 01-101、02-102、 03-103、04-104、 05～10-000
＊9201	[ドアホン着信鳴動電話機(夜)] ※空欄に$D_2D_2D_2$のデータ(収容位置)を記入	[全ドアホン] 01-101、02-102、 03-103、04-104、 05～10-000
＊9202	[ドアホン着信音の選択] ※空欄該当部分をマーク	ドアホン　パターン 1:A　－　0:A 2:B　－　1:B 3:C　－　2:C 4:D　－　0:A 5:E　－　1:B
＊9203	[ドアホン着信鳴動時間] ※空欄該当部分をマーク	6:7秒
＊9204	[ドアホン着信応答可能時間] ※空欄該当部分をマーク	1:20秒
＊9205	[オフフック中のドアホン着信鳴動]	0:なし
＊9206	[ドアホン冒頭音の送出時間]	2:4秒
＊9207	[ドアホン着信の内線着信音による鳴動] ※空欄該当部分をマーク	0:ドアホン着信音
＊9208	[ドアホン種別] ※空欄該当部分をマーク	0:一般ドアホン
＊9209	[ドアホン待機中状態] ※空欄該当部分をマーク	0:ランプ消灯

D_1D_1 項番

D_0 ドアホン		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
1	A										
2	B										
3	C										
4	D										
5	E										

3-1版～

D_1D_1 項番

D_0 ドアホン		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
1	A										
2	B										
3	C										
4	D										
5	E										

3-1版～

D_1 着信音パターン

D_0 ドアホン		0(A)	1(B)	2(C)	3(D)
1	A				
2	B				
3	C				
4	D				
5	E				

3-1版～

D_1 鳴動時間

D_0 ドアホン		1 2秒	2 3秒	3 4秒	4 5秒	5 6秒	6 7秒
1	A						
2	B						
3	C						
4	D						
5	E						

3-1版～

D_1 応答可能時間

D_0 ドアホン		1 20秒	2 25秒	3 30秒	4 35秒	5 40秒	6 45秒	7 50秒	8 55秒	9 60秒
1	A									
2	B									
3	C									
4	D									
5	E									

3-1版～

D	0	1
着信鳴動	なし	あり

D	0	1	2	3
時間	機能なし	2秒	4秒	6秒

$D_0D_0D_0$ 収容位置

D_2 ドアホン			101	102	103	104	105	106	109	110	111	112
着信音種類	0	ドアホン着信音										
	1	内線着信音										

D_0 ドアホン		1 A	2 B	3 C
D_1 種別	0 一般ドアホン			
	1 テレビドアホン			

D_0 ドアホン		1 A	2 B	3 C
D_1 状態	0 ランプ消灯			
	1 ランプ点灯			

外部機器に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9210 (7-1版～)	[ドアホン着信転送先] ※空欄に転送先電話番号を記入	設定なし

D_0 ﾄﾞｱﾎﾝ		D_1 項番	D_2…D_2 転送先電話番号
1	ﾄﾞｱﾎﾝA	1	
		2	
2	ﾄﾞｱﾎﾝB	1	
		2	
3	ﾄﾞｱﾎﾝC	1	
		2	
4	ﾄﾞｱﾎﾝD	1	
		2	
5	ﾄﾞｱﾎﾝE	1	
		2	

＊9211 (7-1版～)	[ドアホン着信転送用の外線自動発信特番] ※空欄該当部分に外線自動発信特番(0～9、00～99)を記入					0

D_0 ﾄﾞｱﾎﾝ		1 ﾄﾞｱﾎﾝA	2 ﾄﾞｱﾎﾝB	3 ﾄﾞｱﾎﾝC	4 ﾄﾞｱﾎﾝD	5 ﾄﾞｱﾎﾝE
D_1 項番	1					
	2					

＊9212 (7-1版～)	[ドアホン着信転送時の外線送話ゲイン]					0:標準

D_0 ＼ D_1		送話ｹﾞｲﾝ 0	1	2	3	4	5	6	7
1	ﾄﾞｱﾎﾝA	標準	大	←		標準		→	小
2	ﾄﾞｱﾎﾝB	標準	大	←		標準		→	小
3	ﾄﾞｱﾎﾝC	標準	大	←		標準		→	小
4	ﾄﾞｱﾎﾝD	標準	大	←		標準		→	小
5	ﾄﾞｱﾎﾝE	標準	大	←		標準		→	小

＊9213 (7-1版～)	[ドアホン着信転送時の外線受話ゲイン]					0:標準

D_0 ＼ D_1		受話ｹﾞｲﾝ 0	1	2	3	4	5	6	7
1	ﾄﾞｱﾎﾝA	標準	大	←		標準		→	小
2	ﾄﾞｱﾎﾝB	標準	大	←		標準		→	小
3	ﾄﾞｱﾎﾝC	標準	大	←		標準		→	小
4	ﾄﾞｱﾎﾝD	標準	大	←		標準		→	小
5	ﾄﾞｱﾎﾝE	標準	大	←		標準		→	小

＊9214 (7-1版～)	[ドアホン着信転送時のアナログ外線送話補正ゲイン]					0:標準

D	0	1	2	3	4	5	6	7	8
送話補正ｹﾞｲﾝ	標準	大	←		標準			→	小

＊9215 (7-1版～)	[ドアホン着信転送時のアナログ外線受話補正ゲイン]					0:標準

D	0	1	2	3	4	5	6	7	8
受話補正ｹﾞｲﾝ	標準	大	←		標準			→	小

＊9217	[BGM外部スピーカ出力の設定]					0:出力なし

D	0	1
BGM出力	出力なし	出力あり

＊9218	[外部スピーカ呼出の冒頭音送出までの時間]					1:1秒

D	1	2	3	4	5	6	7
冒頭音送出までの時間	1秒	2秒	3秒	4秒	5秒	6秒	7秒

＊9219	[外部スピーカ呼出の冒頭音選択]					5:EXU

D	0	1	2	3	4	5
冒頭音	なし	500Hz断続音	1kHz断続音	500Hz連続音	1kHz連続音	EXU

＊9222	[外部スピーカ、高音量ベルの鳴動対象電話機収容位置] ※空欄に対象電話機の収容位置を記入(設定なしは000)					000:設定なし

D_0 鳴動機器	0 外部ｽﾋﾟｰｶ	1 高音量ﾍﾞﾙ1	2 高音量ﾍﾞﾙ2	3 高音量ﾍﾞﾙ3	4 高音量ﾍﾞﾙ4
$D_1D_1D_1$ 収容位置					

＊9223	[外部スピーカ、高音量ベルの鳴動範囲] ※空欄該当部分をﾏｰｸ					0:外線

D_0 鳴動機器		0 外部ｽﾋﾟｰｶ	1 高音量ﾍﾞﾙ1	2 高音量ﾍﾞﾙ2	3 高音量ﾍﾞﾙ3	4 高音量ﾍﾞﾙ4
D_1 鳴動範囲	0 外線					
	1 内線+外線					

外部機器に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9224	[外部スピーカの鳴動音の選択] D: 0 外部ｽﾋﾟｰｶ鳴動音 A / 1 外部ｽﾋﾟｰｶ鳴動音 B / 2 保留音 / 3 外部音源(EXU) A:880Hz/30Hz変調音 B:850Hz/16Hz変調音	0:A
＊9225	[センサ着信不応答時のリトライ間隔] D: 1 リﾄﾗｲ間隔 1分 / 2 2分 / 3 3分 / 4 4分 / 5 5分 / 6 6分 / 7 7分 / 8 8分 / 9 9分	1:1分
＊9226	[センサ検出の夜間切替連動] ※空欄にﾃﾅﾝﾄ番号(0:連動なし,01～07)を記入 D_0 センサ番号(入力端子): 0 センサ0(夜間切替) / 1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC) / 2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB) / 3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA) D_1D_1 ﾃﾅﾝﾄ番号	0:連動なし
＊9227	[センサ夜間連動時のセンサ遅延タイマ] D_0 センサ番号(入力端子): 0 センサ0(夜間切替) / 1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC) / 2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB) / 3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA) D_1 遅延ﾀｲﾏ ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1: 0 遅延ﾀｲﾏ 10秒 / 1 20秒 / 2 30秒 / 3 1分 / 4 2分 / 5 4分 / 6 なし	0:10秒
＊9228	[センサ毎の不在時自動ハンズフリー連動電話機] ※空欄に連動電話機の収容位置(101～106、109～112、連動なしは000)を記入 D_0 センサ番号(入力端子): 0 センサ0(夜間切替) / 1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC) / 2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB) / 3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA) $D_1D_1D_1$ 収容位置	000:連動なし
＊9229 (6-1版～)	[センサ夜間連動時のセンサ遅延タイマ(発信時)] D_0 センサ番号(入力端子): 0 センサ0(夜間切替) / 1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC) / 2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB) / 3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA) D_1 遅延ﾀｲﾏ ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入 D_1: 0 遅延ﾀｲﾏ ＊9227と共通 / 1 10秒 / 2 20秒 / 3 30秒 / 4 40秒 / 5 50秒 / 6 60秒 / 7 なし	0:＊9227と共通
＊9230	[リモコン端子の使用種別] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0 ﾘﾓｺﾝ番号: 1 / 2 / 3 / 4 D_1 種別: 0 ﾘﾓｺﾝ(外線ﾘﾓｰﾄ操作不可、自動戻りなし) / 1 ﾘﾓｺﾝ(外線ﾘﾓｰﾄ操作不可、自動戻りあり) / 2 ﾘﾓｺﾝ(外線ﾘﾓｰﾄ操作可、自動戻りなし) / 3 外部音源起動端子 / 4 高音量ﾍﾞﾙ / 5 ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出 / 7 ﾘﾓｺﾝ(外線ﾘﾓｰﾄ操作可、自動戻りあり) (9-1版～)	[ﾘﾓｺﾝ1～4] 0：ﾘﾓｺﾝ(外線ﾘﾓｰﾄ操作不可、自動戻りなし)
＊9231	[センサの設定] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0 センサ番号(入力端子): 0 センサ0(夜間切替) / 1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC) / 2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB) / 3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA) D_1 用途: 0 通常 / 1 ｾﾝｻ入力 / 2 ｾﾝｻﾘｾｯﾄ	0:通常
＊9232	[センサの起動条件] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0 センサ番号(入力端子): 0 センサ0(夜間切替) / 1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC) / 2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB) / 3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA) D_1 起動条件: 0 ｼｮｰﾄ / 1 ｵｰﾌﾟﾝ	0:ｼｮｰﾄ

外部機器に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9233	[センサ検出時の鳴動電話機] ※空欄に電話番号(外線の場合)または電話機収容位置(内線の場合)を記入	[項番1～3] 設定なし [項番4～6] 000:設定なし

D_0 センサ番号(入力端子)		D_1 項番	$D_2 \cdots D_2$ 鳴動電話機
0	センサ0(夜間切替)	1(外線)	
		2(外線)	
		3(外線)	
		4(内線)	
		5(内線)	
		6(内線)	
1	センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC)	1(外線)	
		2(外線)	
		3(外線)	
		4(内線)	
		5(内線)	
		6(内線)	
2	センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB)	1(外線)	
		2(外線)	
		3(外線)	
		4(内線)	
		5(内線)	
		6(内線)	
3	センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA)	1(外線)	
		2(外線)	
		3(外線)	
		4(内線)	
		5(内線)	
		6(内線)	

＊9234	[センサ着信時の鳴動音] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入	0:着信警報音

D_0 センサ番号(入力端子)	0 センサ0(夜間切替)	1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC)	2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB)	3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA)
D_1 鳴動音				

D_1	鳴動音	
0	着信警報音	
1	外線着信音1	800Hz/1067Hz
2	外線着信音2	2000Hz/1600Hz
3	外線着信音3	500Hz/666Hz
4	外線着信音4	2667Hz/2286Hz
5	外線着信音5	ﾒﾛﾃﾞｨ1
6	外線着信音6	ﾒﾛﾃﾞｨ2
7	外線着信音7	ﾒﾛﾃﾞｨ3
8	外線着信音8	ﾒﾛﾃﾞｨ4
9	内線着信音	

＊9235	[センサ着信通知時のメッセージ] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入	10:RECU1固定 ﾒｯｾｰｼﾞ

D_0 センサ番号(入力端子)	0 センサ0(夜間切替)	1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC)	2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB)	3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA)
D_1D_1 通知時のﾒｯｾｰｼﾞ				

D_1D_1	09	10	11	12	13	14	20	21	22	23	24
通知時のﾒｯｾｰｼﾞ	外部音源(EXU)	RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ	RECU 1-1	RECU 1-2	RECU 1-3	RECU 1-4	RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ	RECU 2-1	RECU 2-2	RECU 2-3	RECU 2-4

＊9236	[センサ/ドアホンのリモコン連動] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0:ﾘﾓｺﾝ連動なし

D_0 センサ番号(入力端子)		0 センサ0(夜間切替)	1 センサ1(ﾄﾞｱﾎﾝC)	2 センサ2(ﾄﾞｱﾎﾝB)	3 センサ3(ﾄﾞｱﾎﾝA)
D_1 対象ﾘﾓｺﾝ	0 ﾘﾓｺﾝ連動なし				
	1 ﾘﾓｺﾝ1				
	2 ﾘﾓｺﾝ2				
	3 ﾘﾓｺﾝ3				
	4 ﾘﾓｺﾝ4				

外部機器に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9237	[センサ着信外線通知発信用の外線自動発信特番] ※空欄該当部分に外線発信特番(0～9、00～99)を記入	0

D_0	0	1	2	3
センサ番号(入力端子)	ｾﾝｻ0(夜間切替)	ｾﾝｻ1(ﾄﾞｱﾎﾝC)	ｾﾝｻ2(ﾄﾞｱﾎﾝB)	ｾﾝｻ3(ﾄﾞｱﾎﾝA)
D_1 項番 1				
項番 2				
項番 3				

＊9238	[センサ着信時の通知メッセージ送出時間]	1:8秒

D_0	0	1	2	3
センサ番号(入力端子)	ｾﾝｻ0(夜間切替)	ｾﾝｻ1(ﾄﾞｱﾎﾝC)	ｾﾝｻ2(ﾄﾞｱﾎﾝB)	ｾﾝｻ3(ﾄﾞｱﾎﾝA)
D_1 ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間				

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	0	1	2	3
ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間	4秒	8秒	12秒	16秒

＊9239	[センサ着信時の鳴動時間]	1:60秒

D_0	0	1	2	3
センサ番号(入力端子)	ｾﾝｻ0(夜間切替)	ｾﾝｻ1(ﾄﾞｱﾎﾝC)	ｾﾝｻ2(ﾄﾞｱﾎﾝB)	ｾﾝｻ3(ﾄﾞｱﾎﾝA)
D_1 鳴動時間				

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	0	1	2	3
鳴動時間	30秒	60秒	120秒	5秒

4-1版～

＊9242	[CTI出力データ選択]	0:ﾈｰﾑ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ情報

D	0	1
出力ﾃﾞｰﾀ選択	ﾈｰﾑ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ情報	ﾎﾞｲｽﾜｰﾌﾟの転送元番号

＊9243 6-1版～	[センサ着信時の音声メッセージ着信]	00:着信音(＊9234)

D_0	0	1	2	3
センサ番号(入力端子)	ｾﾝｻ0(夜間切替)	ｾﾝｻ1(ﾄﾞｱﾎﾝC)	ｾﾝｻ2(ﾄﾞｱﾎﾝB)	ｾﾝｻ3(ﾄﾞｱﾎﾝA)
D_1D_1 着信音				

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1D_1	00	10	11	12	13	14	20	21	22	23	24
着信音	着信音(＊9234)	RECU1 固定ﾒｯｾｰｼﾞ	RECU 1-1	RECU 1-2	RECU 1-3	RECU 1-4	RECU2 固定ﾒｯｾｰｼﾞ	RECU 2-1	RECU 2-2	RECU 2-3	RECU 2-4

＊9244 8-1版～	[リモコンの自動戻り時間]	[ﾘﾓｺﾝ1～4] 0:1～2秒

D_0	1	2	3	4
対象ﾘﾓｺﾝ	ﾘﾓｺﾝ1	ﾘﾓｺﾝ2	ﾘﾓｺﾝ3	ﾘﾓｺﾝ4
D_1 自動戻り時間(秒)				

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
自動戻り時間(秒)	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11

＊9245 8-1版～	[CTI共通電話帳名称通知有無]	0:なし

D	0	1
共通電話帳名称通知	なし	あり

その他のコマンド

<table>
<tr><th>コマンド</th><th>データ</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9251</td><td>［BGM機能の有無］
<table><tr><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>BGM機能</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊9271</td><td>［複数外線のメッセージ送出タイミング］
<table><tr><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>ﾒｯｾｰｼﾞ送出ﾀｲﾐﾝｸﾞ</td><td>同時</td><td>順次</td></tr></table></td><td>0:同時</td></tr>
<tr><td>＊9272</td><td>［設定完了アナウンスの有無］　※空欄該当部分をマーク
<table><tr><td rowspan="4">D_0
ｱﾅｳﾝｽ有無</td><td>0</td><td>なし</td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>あり(ﾘﾓｰﾄ操作時)</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>あり(ﾘﾓｰﾄ操作時+特番操作時)</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>あり(ﾘﾓｰﾄ操作時+特番操作時+ﾎﾞﾀﾝ操作時)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">D_1
使用するRECU</td><td>1</td><td>RECU1</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>RECU2</td><td></td></tr></table>6-1版～</td><td>0,1:なし,RECU1
～4-1版
1,1:あり(ﾘﾓｰﾄ操作時),RECU1
6-1版～
3,1:あり
(ﾘﾓｰﾄ操作時+特番操作時+ﾎﾞﾀﾝ操作時),RECU1
7-1版～</td></tr>
<tr><td>＊9273
8-1版～</td><td>［リモコン設定時の設定完了アナウンス種別］
<table><tr><td colspan="2">D_0
対象ﾘﾓｺﾝ</td><td>1
ﾘﾓｺﾝ1</td><td>2
ﾘﾓｺﾝ1</td><td>3
ﾘﾓｺﾝ1</td><td>4
ﾘﾓｺﾝ1</td></tr><tr><td rowspan="2">D_1 区分</td><td>ON時</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>OFF時</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入
<table><tr><td>D_2D_2</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>送出ﾒｯｾｰｼﾞの種類</td><td>RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>RECU1-1</td><td>RECU1-2</td><td>RECU1-3</td><td>RECU1-4</td><td>RECU2固定ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>RECU2-1</td><td>RECU2-2</td><td>RECU2-3</td><td>RECU2-4</td></tr></table></td><td>［ﾘﾓｺﾝ1～4］
10:RECU1固定ﾒｯｾｰｼﾞ</td></tr>
</table>

ISDNに関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9281	[発サブアドレス送出の有無] D: 0 なし / 1 あり (発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ送出)	0:なし
＊9282	[着番号チェックの有無] D: 0 なし / 1 あり (着番号ﾁｪｯｸ)	0:なし
＊9283	[着サブアドレスチェックの有無] D: 0 なし / 1 あり (着ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ﾁｪｯｸ)	1:あり
＊9284	[発番号／着番号の設定] ※D_2:空欄該当部分をﾏｰｸ、D_3…D_3:空欄に電話番号を記入 D_0D_0 外線番号 / D_2 発番号通知有無 0 なし 1 あり / D_3…D_3 発番号/着番号 01 / 02 / 03 / 04 / 05 / 06 / 07 / 08	1:番号通知あり 番号設定なし
＊9285	[短縮ダイヤル発信時のダイヤルスタートタイミング] D: 0 操作後すぐにｽﾀｰﾄ / 1 一定時間後にｽﾀｰﾄ (ﾀﾞｲﾔﾙｽﾀｰﾄﾀｲﾐﾝｸﾞ)	0:操作後すぐにｽﾀｰﾄ
＊9286	[桁間タイマ] D: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (桁間ﾀｲﾏ(秒)) 1 2 3 4 5 6 7 8 9	4:4秒
＊9287	[ISDN端末種別] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置: 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2 端末種別: 0 電話 / 1 ﾓﾃﾞﾑ / 3 G2/G3FAX	[収容位置107,108] 1:ﾓﾃﾞﾑ [他収容位置] 0:電話
＊9288	[#ダイヤルスタートの可否] D: 0 なし / 1 あり (#ﾀﾞｲﾔﾙｽﾀｰﾄ)	1:あり
＊9289	[着番号受信時のダイヤルイン着信可否] D: 0 不可 / 1 可 (ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ可否)	1:可
＊9290	[グローバル着信受付可否] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号: 01 02 03 04 05 06 07 08 D_2 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信受付: 0 なし / 1 あり	1:あり
＊9291	[DILIN番号毎の発番号通知有無] ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 DILIN番号: 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 D_2 発番号通知有無: 0 なし / 1 あり D_0D_0 DILIN番号: 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 D_2 発番号通知有無: 0 なし / 1 あり	1:あり
＊9292	[インターネット使用中表示の有無] D: 0 なし / 1 あり (ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ使用中表示)	0:なし
＊9294	[ISDNダイヤルイン着信電話機なし時の動作] D: 0 着信 / 1 切断 (動作)	0:着信

課金に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9300	［**設置局番号の設定**］ ※空欄に先頭の0を除いた番号を記入 ＤＤＤＤＤ 設置局番号	00000:設定なし
＊9301	［**課金グループの設定**］ ※空欄に課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(00～03)を記入 $D_0D_0D_0$ 電話機収容位置 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 D_2D_2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 $D_0D_0D_0$ 仮想収容位置 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 D_2D_2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	00:ｸﾞﾙｰﾌﾟ00
＊9302	［**外線別料金管理の設定**］ ※空欄該当部分をﾏｰｸ D_0D_0 外線番号 01 02 03 04 05 06 07 08 D_2 料金管理 0 なし 1 あり	1:あり
＊9303	［**国内の単位通話料金**］ ※空欄に単位料金D_2D_2(00:なし､01:1円～99:99円)を記入 D_1 通話区分 1 市内 / 2 県内市外 / 3 県間市外 D_2D_2 単位料金	1,09:市内9円 2,10:県内市外 10円 3,10:県間市外 10円
＊9306	［**課金から削除するプレダイヤル**］ ※空欄に削除するﾌﾟﾚﾀﾞｲﾔﾙを記入 D_0 項番 / $D_1(D_1D_1D_1)$ 削除するﾌﾟﾚﾀﾞｲﾔﾙ 1 2 3 4 5 6 7 8	項番1=184 項番2=186 項番3～8=設定なし
＊9307	［**タイミングリバース対象外線種別とタイミングリバース開始までの時間**］ D_0 外線種別 0 特定番号 / 1 PBX / 2 NTT、PBX、CES D_1D_1 時間 00 機能なし / 01 2秒 / 02 4秒 / 03 6秒 / 04 8秒 / 05 10秒 / 06 12秒 / 07 14秒 / 08 16秒 / 09 18秒 / 10 20秒 / 11 22秒 / 12 24秒 / 13 26秒 / 14 28秒 / 15 30秒	0,00:特定番号,機能なし
＊9308	［**強制タイミングリバースのダイヤル設定**］ D_0D_0 項番 / $D_1 \cdots D_1$ ﾀﾞｲﾔﾙ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16	項番01:104 項番02:0120 項番03:0800 項番04～16:設定なし

課金に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9309	[**割引料金適用日**] ※空欄に適用月日を記入	項番01=01,01,0 項番02=01,02,1 項番03=01,03,1 項番04=02,11,0 項番05=04,29,0 項番06=05,03,0 項番07=05,04,0 項番08=05,05,0 項番09=11,03,0 項番10=11,23,0 項番11=12,23,0 項番12～20= 設定なし

D_0D_0 項番	D_1D_1 月	D_2D_2 日	D_3 祝日/平日 0	D_3 祝日/平日 1	D_0D_0 項番	D_1D_1 月	D_2D_2 日	D_3 祝日/平日 0	D_3 祝日/平日 1
01	：	：	祝日	平日	11	：	：	祝日	平日
02	：	：	祝日	平日	12	：	：	祝日	平日
03	：	：	祝日	平日	13	：	：	祝日	平日
04	：	：	祝日	平日	14	：	：	祝日	平日
05	：	：	祝日	平日	15	：	：	祝日	平日
06	：	：	祝日	平日	16	：	：	祝日	平日
07	：	：	祝日	平日	17	：	：	祝日	平日
08	：	：	祝日	平日	18	：	：	祝日	平日
09	：	：	祝日	平日	19	：	：	祝日	平日
10	：	：	祝日	平日	20	：	：	祝日	平日

＊9312 [**予算オーバー発信規制のサービスクラス**]　初期値：0:機能なし

D	0	1	2	3	4	5	6	7
予算ｵｰﾊﾞｰ後のｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ	機能なし	B	C	D	E	F	G	電話機毎

＊9313 [**待機時の予算使用率表示機能**]　初期値：0:なし

D	0	1
表示	なし	あり

＊9314 [**超過料金アラームの有無と料金設定**] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(0001～9999)を記入　初期値：0000:機能なし

DDDD	0000	
超過料金	機能なし	円

＊9315 [**国内通話の課金基本秒数**] ※空欄に$D_3D_3D_3$のﾃﾞｰﾀ(秒数の2倍)を記入　初期値：下表による

D_2	時間帯			1:昼	2:夜	3:深夜
D_1D_1 距離区分	01	市内				
	02	県内市外	隣接			
	03		20～			
	04		30～			
	05		60～			
	06		100～			
	07		170～			

D_2	時間帯			1:昼	2:夜	3:深夜
D_1D_1 距離区分	08	県間市外	隣接			
	09		20～			
	10		30～			
	11		60～			
	12		100～			
	13		170～			

〔距離区分と初期値〕

	距離区分	距離(km)	初期値 昼	初期値 夜	初期値 深夜
市内	01	―	360	360	480
県内市外	02	隣接～20	180	180	240
	03	20～30	120	150	180
	04	30～60	120	150	180
	05	60～100	090	120	180
	06	100～170	090	120	180
	07	170～	090	120	180

	距離区分	距離(km)	初期値 昼	初期値 夜	初期値 深夜
県間市外	08	隣接～20	180	180	240
	09	20～30	120	120	150
	10	30～60	090	120	150
	11	60～100	060	090	120
	12	100～170	045	052	090
	13	170～	045	052	090

課金に関するコマンド

コマンド	データ	初期値

＊9316 ［定額課金/簡易トランスレータのダイヤルと一通話の使用料金］

※空欄に固定料金およびﾀﾞｲﾔﾙの設定ﾃﾞｰﾀを記入

D_0D_0 項番	D_1D_1D 1通話における固定料金	$D_2 \cdots D_2$ ﾀﾞｲﾔﾙ	D_0D_0 項番	D_1D_1D 1通話における固定料金	$D_2 \cdots D_2$ ﾀﾞｲﾔﾙ
01			33		
02			34		
03			35		
04			36		
05			37		
06			38		
07			39		
08			40		
09			41		
10			42		
11			43		
12			44		
13			45		
14			46		
15			47		
16			48		
17			49		
18			50		
19			51		
20			52		
21			53		
22			54		
23			55		
24			56		
25			57		
26			58		
27			59		
28			60		
29			61		
30			62		
31			63		
32			64		

初期値：
項番01=000,177
項番02=000,117
項番03=000,0120
項番04=000,0800
項番05～64=
000:設定なし

＊9317 ［簡易トランスレータの課金基本秒数］ ※空欄に$D_2D_2D_2$のﾃﾞｰﾀ(秒数の2倍)を記入

D_0D_0 項番	D_1 時間帯 1:昼	2:夜	3:深夜	D_0D_0 項番	D_1 時間帯 1:昼	2:夜	3:深夜	D_0D_0 項番	D_1 時間帯 1:昼	2:夜	3:深夜	D_0D_0 項番	D_1 時間帯 1:昼	2:夜	3:深夜
01				17				33				49			
02				18				34				50			
03				19				35				51			
04				20				36				52			
05				21				37				53			
06				22				38				54			
07				23				39				55			
08				24				40				56			
09				25				41				57			
10				26				42				58			
11				27				43				59			
12				28				44				60			
13				29				45				61			
14				30				46				62			
15				31				47				63			
16				32				48				64			

初期値：
項番01=1,360、
2,360、
3,480
項番02=1,360、
2,360、
3,480
項番03～64=
000:設定なし

＊9318 ［簡易トランスレータの単位通話料金］ ※空欄に単位通話料金(00：0円/01:1円～99:99円)を記入

D_0D_0 項番	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
D_1D_1 単位通話料金																

D_0D_0 項番	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
D_1D_1 単位通話料金																

D_0D_0 項番	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
D_1D_1 単位通話料金																

D_0D_0 項番	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
D_1D_1 単位通話料金																

初期値：
項番01=09:9円
項番02=09:9円
項番03～64=
00:0円

課金に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9319	［**課金の昼夜切替時間帯**］ ※D_0(種別)毎にD_3のﾃﾞｰﾀ(1:昼,2:夜,3:深夜)を記入	平日,土曜,休日共、NTTの切替時刻と同じ

切替時刻	D_1D_1 時	D_2 分	D_0 種別 0 平日	1 土曜	2 休日	切替時刻	D_1D_1 時	D_2 分	D_0 種別 0 平日	1 土曜	2 休日
0時00分	00	0				12時00分	12	0			
0時30分	00	1				12時30分	12	1			
1時00分	01	0				13時00分	13	0			
1時30分	01	1				13時30分	13	1			
2時00分	02	0				14時00分	14	0			
2時30分	02	1				14時30分	14	1			
3時00分	03	0				15時00分	15	0			
3時30分	03	1				15時30分	15	1			
4時00分	04	0				16時00分	16	0			
4時30分	04	1				16時30分	16	1			
5時00分	05	0				17時00分	17	0			
5時30分	05	1				17時30分	17	1			
6時00分	06	0				18時00分	18	0			
6時30分	06	1				18時30分	18	1			
7時00分	07	0				19時00分	19	0			
7時30分	07	1				19時30分	19	1			
8時00分	08	0				20時00分	20	0			
8時30分	08	1				20時30分	20	1			
9時00分	09	0				21時00分	21	0			
9時30分	09	1				21時30分	21	1			
10時00分	10	0				22時00分	22	0			
10時30分	10	1				22時30分	22	1			
11時00分	11	0				23時00分	23	0			
11時30分	11	1				23時30分	23	1			

課金に関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9320	［**国際通話料金パターンの設定**］ ※空欄に各単位料金(001～255)を記入	[1分まで] 000:設定なし [1分以降] 000:設定なし

D_0D_0 パターン番号			01	02	03	04	05	06	07	08
D_1 時間帯	1 昼	$D_2D_2D_2$ 1分までの単位料金								
		$D_3D_3D_3$ 1分以降の単位料金								
	2 夜	$D_2D_2D_2$ 1分までの単位料金								
		$D_3D_3D_3$ 1分以降の単位料金								
	3 深夜	$D_2D_2D_2$ 1分までの単位料金								
		$D_3D_3D_3$ 1分以降の単位料金								

D_0D_0 パターン番号			09	10	11	12	13	14	15
D_1 時間帯	1 昼	$D_2D_2D_2$ 1分までの単位料金							
		$D_3D_3D_3$ 1分以降の単位料金							
	2 夜	$D_2D_2D_2$ 1分までの単位料金							
		$D_3D_3D_3$ 1分以降の単位料金							
	3 深夜	$D_2D_2D_2$ 1分までの単位料金							
		$D_3D_3D_3$ 1分以降の単位料金							

＊9321 ［**国番号及び対応料金パターン番号の設定**］
※空欄に国番号と対応する料金ﾊﾟﾀｰﾝ番号(01～15)を記入

[料金パターン]
00:設定なし
[国番号]
設定なし

D_0D_0 登録番号	D_1D_1 料金ﾊﾟﾀｰﾝ	$D_2 \cdots D_2$ 国番号	D_0D_0 登録番号	D_1D_1 料金ﾊﾟﾀｰﾝ	$D_2 \cdots D_2$ 国番号	D_0D_0 登録番号	D_1D_1 料金ﾊﾟﾀｰﾝ	$D_2 \cdots D_2$ 国番号
01			33			65		
02			34			66		
03			35			67		
04			36			68		
05			37			69		
06			38			70		
07			39			71		
08			40			72		
09			41			73		
10			42			74		
11			43			75		
12			44			76		
13			45			77		
14			46			78		
15			47			79		
16			48			80		
17			49			81		
18			50			82		
19			51			83		
20			52			84		
21			53			85		
22			54			86		
23			55			87		
24			56			88		
25			57			89		
26			58			90		
27			59			91		
28			60			92		
29			61			93		
30			62			94		
31			63			95		
32			64			96		

＊9337 ［**通話料金にかける消費税**］ ※空欄に$D_0D_0D_0$のﾃﾞｰﾀ(税率)を記入

[税率]
050：5%
[端数処理金額]
1：10円未満
[端数処理]
2：四捨五入

$D_0D_0D_0$ 税率	D_1 端数処理金額		D_2 端数処理		
	0	1	0	1	2
(　　%)	1円未満	10円未満	切り上げ	切り捨て	四捨五入

IPに関するコマンド

コマンド	データ	初期値
＊9400	[主装置のIPアドレス] ※空欄にIPｱﾄﾞﾚｽを記入 D_0 ｱﾄﾞﾚｽ種類 / $D_1 \cdots D_1$ IPｱﾄﾞﾚｽ 0 IPｱﾄﾞﾚｽ 1 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 2 ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ	0:192168001100 192.168.1.100 1:255255255000 255.255.255.0 2:192168001002 192.168.1.2
＊9401 3-1版～	[IP端末のIPアドレス] ※空欄にIPｱﾄﾞﾚｽを記入 $D_0D_0D_0$ 収容位置 / $D_1 \cdots D_1$ IPｱﾄﾞﾚｽ 109 110 111 112	000000000000： なし
＊9402 3-1版～	[IP端末制御用ポート番号] ※空欄にﾎﾟｰﾄ番号を記入 D D D D D ﾎﾟｰﾄ番号	50000
＊9403	[データ設定アプリ用ポート設定] D / 0 / 1 ﾎﾟｰﾄ設定 / ﾎﾟｰﾄｸﾛｰｽﾞ / ﾎﾟｰﾄｵｰﾌﾟﾝ	0:ﾎﾟｰﾄｸﾛｰｽﾞ
＊9404	[CTI情報送出先ポート番号] D D D D D ﾎﾟｰﾄ番号	00000:なし
＊9405	[CTI情報送出先IPアドレス] D…D IPｱﾄﾞﾚｽ	000000000000: なし
＊9406	[ダイヤルアップWeb設定用IPアドレス] D…D IPｱﾄﾞﾚｽ	000000000000: なし
＊9409	[ルータのポート番号] D D D D D ﾎﾟｰﾄ番号	08070:8070
＊9412 8-1版～	[ASPサーバIPアドレス] $D_1 \cdots D_1$ IPｱﾄﾞﾚｽ	000000000000: なし
＊9413 8-1版～	[ASPサーバポート番号] D D D D D ﾎﾟｰﾄ番号	00000:なし
＊9414 8-1版～	[CTI2サーバIPアドレス] $D_1 \cdots D_1$ IPｱﾄﾞﾚｽ	000000000000: なし
＊9415 8-1版～	[CTI2サーバポート番号] D D D D D ﾎﾟｰﾄ番号	00000:なし
＊9419 3-1版～	[IP端末の端末種別] ※空欄該当部分をﾏｰｸ $D_0D_0D_0$ 収容位置 / 109 / 110 / 111 / 112 D_1/D_2 端末種別 0 なし 1 IPLD/IPSD 2 IPDH1(ﾄﾞｱﾎﾝD) 3 IPDH2(ﾄﾞｱﾎﾝE)	0:なし

IPに関するコマンド

<table>
<tr><th>コマンド</th><th>データ</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9420
3-1版～</td><td>［IP基板のIPアドレス］ ※空欄にIPｱﾄﾞﾚｽを記入
<table><tr><td>D_0D_0
ｽﾛｯﾄ番号</td><td colspan="4">$D_1 \cdots D_1$
IPｱﾄﾞﾚｽ</td></tr><tr><td>13(内線ﾎﾟｰﾄ)</td><td>:: :: :: :: :: :: :: :: :: :: :: ::</td></tr></table></td><td>13-192168001113:
192.168.1.113</td></tr>
<tr><td>＊9421
3-1版～</td><td>［IP端末の音声ポート番号］ ※空欄にﾎﾟｰﾄ番号を記入
<table><tr><td>$D_0D_0D_0$
収容位置</td><td>$D_1D_1D_1D_1D_1$
ﾎﾟｰﾄ番号</td><td>初期値</td></tr><tr><td>109</td><td>:: :: :: :: ::</td><td>50109</td></tr><tr><td>110</td><td>:: :: :: :: ::</td><td>50110</td></tr></table><table><tr><td>$D_0D_0D_0$
収容位置</td><td>$D_1D_1D_1D_1D_1$
ﾎﾟｰﾄ番号</td><td>初期値</td></tr><tr><td>111</td><td>:: :: :: :: ::</td><td>50111</td></tr><tr><td>112</td><td>:: :: :: :: ::</td><td>50112</td></tr></table></td><td>左表参照</td></tr>
<tr><td>＊9422
3-1版～</td><td>［IP-DHの画像用IPアドレス］ ※空欄にIPｱﾄﾞﾚｽを記入
<table><tr><td>D_0
IPDH番号</td><td colspan="4">$D_1 \cdots D_1$
IPｱﾄﾞﾚｽ</td></tr><tr><td>1</td><td>:: :: :: :: :: :: :: :: :: :: :: ::</td></tr><tr><td>2</td><td>:: :: :: :: :: :: :: :: :: :: :: ::</td></tr></table></td><td>1-192168001255:
192.168.1.255
2-192168001255:
192.168.1.255</td></tr>
<tr><td>＊9423
3-1版～</td><td>［IP-DHの画像用ポート番号］ ※空欄にﾎﾟｰﾄ番号を記入
<table><tr><td>D_0
IPDH番号</td><td>$D_1D_1D_1D_1D_1$
ﾎﾟｰﾄ番号</td></tr><tr><td>1</td><td>:: :: :: :: ::</td></tr><tr><td>2</td><td>:: :: :: :: ::</td></tr></table></td><td>1-60000
2-60002</td></tr>
</table>

ディジタルコードレスに関するコマンド(BS運用データ)

コマンド	データ	初期値
＊9500	[**呼出エリア番号**] ※空欄に呼出ｴﾘｱ番号(00～30)を記入	左表参照
＊9501	[**BSグループ番号**] ※空欄にBSｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(0～7)を記入	
＊9502	[**BS番号**] ※空欄にBS番号(00～31)を記入	

$D_0D_0D_0$ 対象BS	＊9500 D_2D_2 呼出ｴﾘｱ番号	＊9500 初期値	＊9501 D_2 BSｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	＊9501 初期値	＊9502 D_1D_1 BS番号	＊9502 初期値
101		00		1		00
102		00		1		01
103		00		1		02
104		00		1		03
105		00		1		04
106		00		1		05
109		00		1		08
110		00		1		09
111		00		1		10
112		00		1		11

ディジタルコードレスに関するコマンド(PSデータ)

コマンド	データ	初期値
＊9521	[**PS-ID**] ※空欄にPS-IDを記入	設定なし
＊9524	[**PS種別**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	5,0,0
＊9529 (4-1版～)	[**自グループのみ待ち受け機能**] ※空欄該当部分をﾏｰｸ	0：なし

$D_0D_0D_0$ PS 収容位置	＊9521 D_1…D_1 (9桁) PS-ID	＊9524 D_2 PS種別 0	1	2	3	4	5	D_3 ﾊﾝﾄﾞｵｰﾊﾞｰ範囲 0 制限なし	1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ内のみ	D_4 他ｸﾞﾙｰﾌﾟ迂回発信 0 不可	1 可	＊9529 D_2 自ｸﾞﾙｰﾌﾟのみ待ち受け 0 なし	1 あり
137		-	-	-	-	-							
138		-	-	-	-	-							
139		-	-	-	-	-							
140		-	-	-	-	-							
141		-	-	-	-	-							
142		-	-	-	-	-							
143		-	-	-	-	-							
144		-	-	-	-	-							
145		-	-	-	-	-							
146		-	-	-	-	-							
147		-	-	-	-	-							
148		-	-	-	-	-							

＊9525	[**電話機グループとグループ呼出エリアの対応**] ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(呼出ｴﾘｱ番号(00～30)、BSｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(0～7))を記入	電話機 呼出ｴﾘｱ ｸﾞﾙｰﾌﾟ BSｸﾞﾙｰﾌﾟ 01 : 00,1 02 : 00,2 03 : 00,3
＊9526	[**ラインキーと外線番号の対応**] ※空欄にD_2D_2のﾃﾞｰﾀ(外線番号)を記入	[全ｸﾞﾙｰﾌﾟ] 01-01、02-02、 03-03、04-04、 05-05、06-06、 07-07、08-08、 09-00、10-00、 11-00、12-00

D_0D_0 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ		01	02	03
D_1D_1 ﾗｲﾝｷｰ	01			
	02			
	03			
	04			
	05			
	06			
	07			
	08			

D_0D_0 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ	01	02	03
D_1D_1 呼出ｴﾘｱ番号			
D_2 BSｸﾞﾙｰﾌﾟ番号			

ディジタルコードレスに関するコマンド(PSデータ)

コマンド	データ	初期値
＊9527	［**Fキーの機能**］	左表参照

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表の機能番号)を記入

D_0D_0 Fｷｰ		$D_1D_1D_1$ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ 機能番号	初期値
01	F1		969(短縮/電話帳)
02	F2		972(録音)
03	F3		984(不在設定)
04	F4		990(聴話)
05	F5		994(ﾌｯｸ/ｸﾘｱ)
06	F6		996(代理応答/切替)
07	F7		998(自己保留)
08	F8		700(ﾏｲﾎﾞｯｸｽ)
09	F9		000(機能なし)
10	F10		000(機能なし)
11	F11		000(機能なし)
12	F12		000(機能なし)

機能番号	ｷｰ名称
969	短縮/電話帳
972	録音
984	不在設定
990	聴話
994	ﾌｯｸ/ｸﾘｱ
996	代理応答/切替
998	自己保留
700	ﾏｲﾎﾞｯｸｽ

機能番号	ｷｰ名称
861	再生1
862	再生2
863	再生3
864	再生4
877	戻り
878	送り
879	消去
880	停止
965	発信
980	内線
992	ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ

＊9528 ［**電話機グループと夜間切替テナント番号の対応**］ 全ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01:ﾃﾅﾝﾄ1

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀD_2D_2(ﾃﾅﾝﾄ番号)を記入

D_0D_0 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ	01	02	03
D_2D_2 ﾃﾅﾝﾄ番号			

＊9530 ［**PSの圏外トーキーの有無と種類**］ 00:なし(BT送出)

$D_0D_0D_0$ PS収容位置	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148
D_2D_2 圏外ﾄｰｷｰの種類												

※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(下表参照)を記入

D_2D_2	00	11	12	13	14	21	22	23	24
圏外ﾄｰｷｰの種類	なし(BT送出)	RECU 1-1	RECU 1-2	RECU 1-3	RECU 1-4	RECU 2-1	RECU 2-2	RECU 2-3	RECU 2-4

＊9531 ［**圏外トーキー送出時間**］ 1:8秒

D	0	1	2	3
圏外ﾄｰｷｰ送出時間	4秒	8秒	12秒	16秒

＊9532 ［**圏外トーキー送出時の他PSの圏外トーキー送出有無**］ 1:送出あり

D	0	1
他PSの圏外ﾄｰｷｰ送出	送出なし	送出あり

＊9533 ［**PS呼設定リトライ回数**］ 1:1回

D	1	2	3	4	5	6	7
PS呼設定ﾘﾄﾗｲ回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回

＊9534 ［**再生ボタンのランプ表示可能PS**］ ※空欄に設定ﾃﾞｰﾀ(PS仮想収容位置)を記入 000:なし

D_0 項番	1	2	3	4
$D_1D_1D_1$ PS仮想収容位置				

短縮ダイヤルデータシート（　／　）

※ 必要数コピーして使用してください。

短縮番号	相手先名称	電話番号	備考
□□0			
□□1			
□□2			
□□3			
□□4			
□□5			
□□6			
□□7			
□□8			
□□9			
□□0			
□□1			
□□2			
□□3			
□□4			
□□5			
□□6			
□□7			
□□8			
□□9			
□□0			
□□1			
□□2			
□□3			
□□4			
□□5			
□□6			
□□7			
□□8			
□□9			
□□0			
□□1			
□□2			
□□3			
□□4			
□□5			
□□6			
□□7			
□□8			
□□9			
□□0			
□□1			
□□2			
□□3			
□□4			
□□5			
□□6			
□□7			
□□8			
□□9			